

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

新潟県 五泉市

自治体名 : 新潟県 五泉市

担当課名 : 教育委員会 学校教育課

電話番号 : 0250-43-3911

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	351.9 km ²
人口	45,853 人
公立中学校数	4 校
公立中学校生徒数	1,054 人
部活動数	35 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

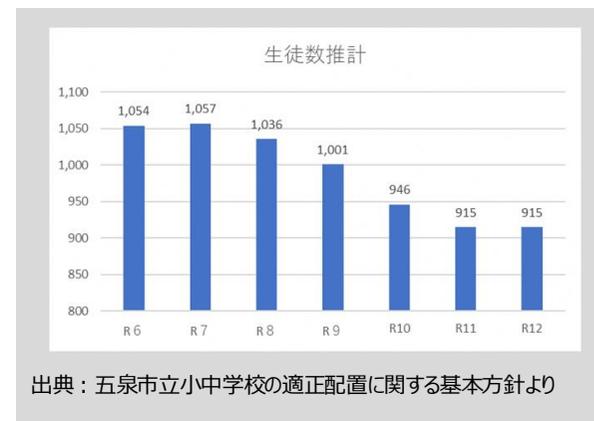
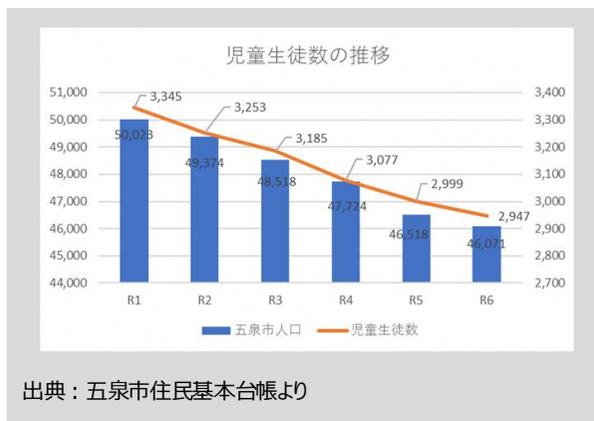
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

五泉市の人口減少とともに、児童生徒数も減少している。生徒数は、令和6年度の1,054人に対して、令和8年度は1,036人、令和12年度では915人にまで減少する見込みである。このまま少子化が進行すると、現在学校単位で行っている部活動は生徒数減少により廃部となったり、単独チームが編成できない、また、学校規模の縮小により専門的な指導を行える教員が配置されないなどにより維持できなくなる可能性が高くなっていく。

中学校の部活動は、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯

感を培うなど、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものである。また異年齢との交流の中で生徒同士や教員との人間関係の構築を図ったり、生徒自身が活動を通して自己肯定感を高めたりするなど、人格形成的にも意義が高いものである。

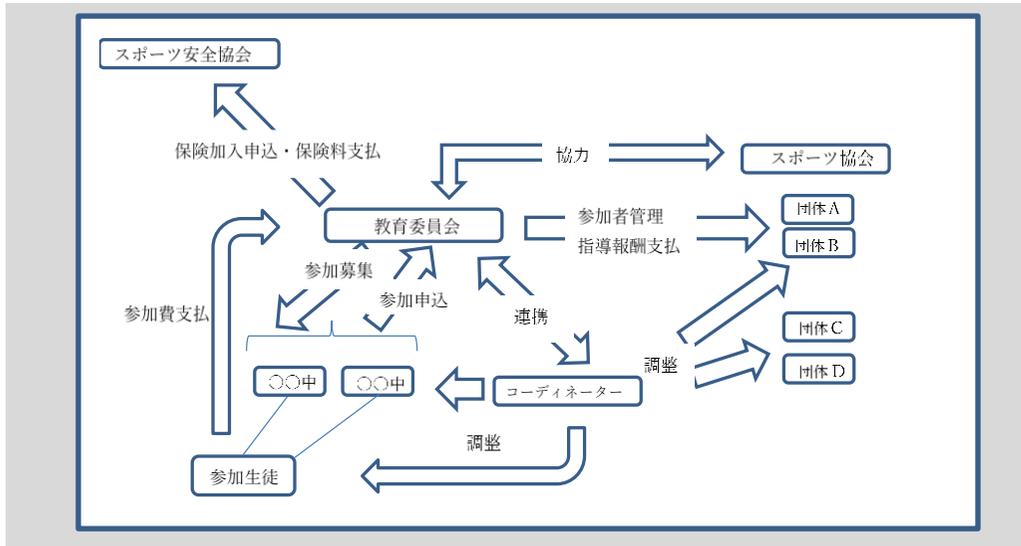
今後も加速化していく人口減少による社会変化の中にあっても、子どもたちが多様なスポーツ・文化活動を選択できる環境の整備を進め、未来の五泉市の子どもたちが、いきいきと活動に取り組める環境の整備を推進していく必要がある。



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・学校教育課・・・各関係機関との連絡・調整、実証事業全体の推進、部活動の在り方検討委員会の運営、謝礼・保険料の支払い、その他事務全般
- ・スポーツ推進課・・・スポーツ協会との連携、部活動在り方検討委員会への参画
- ・生涯学習課・・・文化協会との連携、部活動在り方検討委員会への参画

◎首長部局

- ・財政課・・・予算措置

年間の事業スケジュール

令和6年4月	校長会中学部会へ推進方針及び今年度の取組についての説明
令和6年5月	今年度活動開始競技団体との連絡調整
令和6年6月	部活動の在り方検討委員会の開催
令和6年7月	地域スポーツクラブ活動開始（ソフトテニス、剣道）
令和6年7月	次年度地域スポーツクラブ拡大に向けた意見交換会の開催
令和6年8月	次年度活動に向けた競技団体との連絡調整
令和6年10月	中間検査対応
令和6年12月	次年度地域クラブ設立についての説明会
令和7年2月	事業完了報告・成果報告書の作成
令和7年3月	部活動の在り方検討委員会の開催

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	3校	実施した地域クラブ総数	2クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		2クラブ（8部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		—
全体の指導者数	9人	全体の運営スタッフ数	—

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
中学生地域クラブ	五泉市教育委員会	ソフトテニス※	月2回程度	午前9時～12時	1年生7人 2年生4人 3年生5人	令和6年7月から	五泉市総合会館ほか	5人		年会費 800円（保険料）	中体連：部活動 その他：部活動
泉桜剣士会	五泉市教育委員会	剣道※	月4回程度	午前9時～11時30分	1年生4人 2年生5人 3年生1人	令和6年7月から	五泉市総合会館ほか	4人		年会費 800円（保険料）	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ

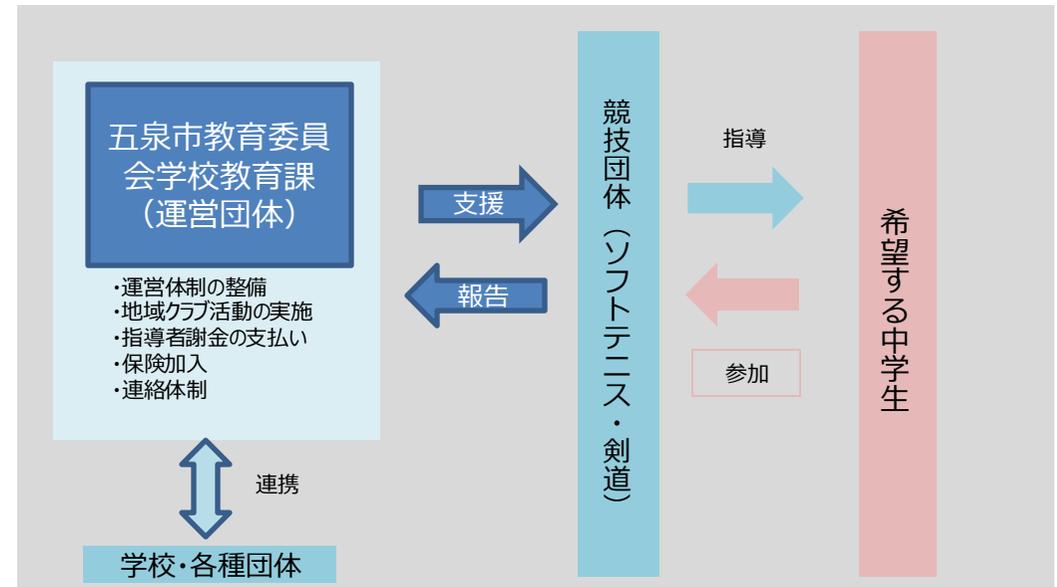
2.実証内容と成果

主な取組例

●五泉市教育委員会 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ソフトテニス、剣道
運営団体名	五泉市教育委員会学校教育課
期間と日数	ソフトテニス：7月27日～3月29日 月2回程度 剣道：7月27日～3月29日 月4回程度
指導者の主な属性	五泉市スポーツ協会加入団体指導者
活動場所	五泉市総合会館、五泉市村松体育館ほか
主な移動手段	保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	保険料のみ
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●クラブ責任者

役割：地域クラブ活動における管理者として、運営団体との連携を行う

●指導者

役割：活動における生徒への指導を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- コーディネーターを1名配置し、関係団体・運営団体との連絡調整等を行う。
- 運営体制の整備や人材の確保など、持続可能な運営ができる組織体制の検討を行う。

取組の成果

- 教員を務め、生徒への指導実績もあるコーディネーター1名を配置した。コーディネーターを教育委員会に配置したことにより、関係団体・運営団体及び中学校との連絡調整を円滑に行うことができた。
- 現在は五泉市教育委員会学校教育課が運営主体となり業務を行っているが、持続可能な運営を行うためには、運営の在り方について検討が必要といった課題も発見できた。

コーディネーターの具体的な動きの実績

【コーディネーター】

- 学校、指導者との連絡調整を行い、関係団体との連携を図った。

今後の課題と対応方針

- 種目拡大を図るため、関係団体と更なる連携を図る。
- 持続可能な運営について検討を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- 学校と連携して進めていくため、校長会中学部会において、本市の取組及び今後の見通し等の説明を実施する
- 競技団体と顧問教員との連携を図るため、協議の場を設ける
- 部活動の在り方検討委員会を開催し、連携強化を図る

取組の成果

- 校長会中学部会を訪問し学校の協力を求めた。その結果市内中学校の全ての生徒に募集チラシの配布を行うことができた。
- 各競技団体との打ち合わせや顧問教員との協議の場を設けることにより、情報共有を行い、連携を深めることができた。
- 部活動の在り方検討委員会では今年度の活動内容について報告し、連携強化を図った。

今後の課題と対応方針

- 競技団体や総合型地域スポーツクラブ、民間事業者等の多様な団体に参画してもらう必要があるため、更なる連携強化を図る。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

○学校設置の部活動種目のうち、ソフトテニス及び剣道について活動を開始する。

○生徒は市内どの学校からでも地域クラブに参加できる。

○生徒は部活動と同じ種目を選ばなくても興味のある種目に参加できる。

活動の詳細

参加人数	26人	指導者数	9人
属性	市内在住の中学生		
具体的な内容	令和6年6月10日号の広報紙において、市内在住の中学生に対して生徒募集の周知を行い、7月27日から活動を開始した。 剣道においては毎週土曜日、ソフトテニスにおいては月2回の活動を行った。		

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

今年度は学校設置の部活動種目について、スポーツ協会での調査において協力可能と回答した、ソフトテニス及び剣道において活動を開始した。参加生徒は市内在住の中学生とし、ソフトテニスは16人、剣道は10人が地域スポーツクラブに参加した。指導者については、ソフトテニスは5人、剣道は4人が地域スポーツクラブにおいて指導を行った。

令和6年度五泉市中学生地域クラブ活動報告

令和6年度は、スポーツ庁の実証事業（地域スポーツクラブ活動体制整備事業）を委託して、「ソフトテニス」と「剣道」の2種目について、7月27日（土）から活動を開始した。

1. ソフトテニス
活動日：隔週土曜日（午前9時から12時）
運営主体：五泉ソフトテニス協会
指導者：5人
参加者合計：16人（令和7年2月28日現在）

	1年生		2年生		3年生		合計
	男	女	男	女	男	女	
五泉中学校	2	1	2	0	1	0	6
村松桜中学校	0	4	0	2	0	4	10

2. 剣道
活動日：毎週土曜日（午前9時から午前11時30分）
運営主体：泉桜剣士会
指導者：4人
参加者合計：10人（令和7年2月28日現在）

	1年生		2年生		3年生		合計
	男	女	男	女	男	女	
五泉北中学校	2	1	2	1	1	0	7
村松桜中学校	0	0	1	0	0	0	1
新潟第一中学校	0	0	1	0	0	0	1
新潟明訓中学校	1	0	0	0	0	0	1

出典：五泉市教育委員会学校教育課

今後の課題と対応方針

○当初の計画と比較すると全体的に参加生徒が少なかった。ソフトテニス、剣道ともに初心者への参加も可能としていたが、初心者への参加も少なかった。今後は初心者でも参加しやすい活動となるよう、各競技団体と検討を進めていく。

○市内全中学校の生徒に対し参加募集を行ったが、一部の学校のみでの参加となった。原因について調査・研究を行い、だれもが参加しやすい環境づくりに努める。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

○地域クラブの運営にあたっては、持続可能な仕組みづくりを行なっていく必要があることから、適切な受益者負担額の設定について検証を行う。

地域クラブに係る経費

■イニシャルコストの分析

- ・教育委員会が運営主体のため該当なし

■ランニングコストの分析

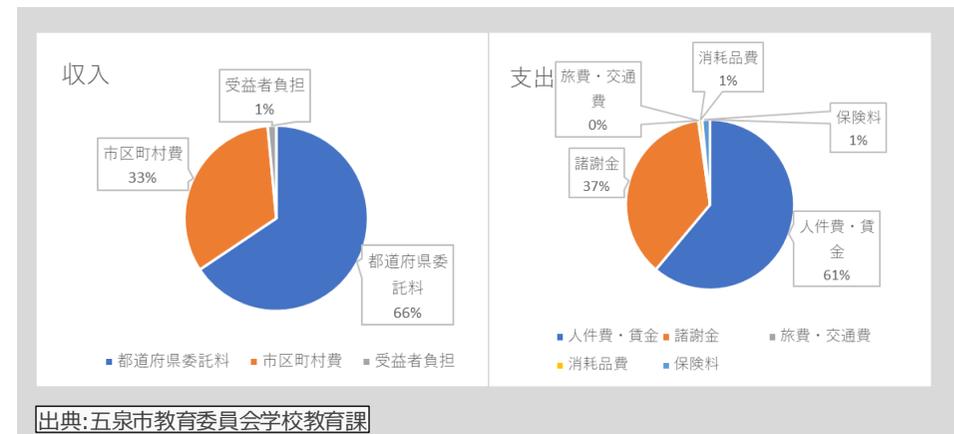
- ・会場借料（0千円）※減免対象とした
- ・指導者謝金（544千円）
- ・事務局人件費（909千円）
- ・消耗品費（10千円）
- ・保険料（22千円）

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算



今年度実施の2クラブにおいて受益者負担を試算すると年間のコストは約27千円となる。持続可能な活動とするには、受益者負担をどこまで抑えられるか、また財源確保をどうするかが課題である。

収支バランス



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

- 地域スポーツクラブの練習会場の使用料については、関係課と連携を図り減免対象としたため費用を抑えることができた。
- 今年度は実証事業の確実な実施が主たる取り組みであったため、部活動の在り方検討委員会や校長会、顧問教員等から保護者負担経費について意見はなく、会費設定の具体的な検討までは進むことができなかった。

今後の課題と対応方針

保護者経費負担については、アンケート調査を行い、負担できる金額の把握に努める。
またその調査結果に基づき、行政支援の在り方について、部活動の在り方検討委員会において検討を進める。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

○当初計画では、ソフトテニス50人程度、剣道においては30人程度の地域クラブ活動の参加者として見込んでいたが、参加率は30%程度であった。

ソフトテニス・剣道ともにほとんどが経験者であり、初心者の参加が少なかった。今後は初心者も参加しやすい活動となるよう検討が必要である。

●成果の評価

○令和6年度は地域クラブ活動の取り組み初年度であったが、2つの地域クラブを発足し、参加生徒は合計26人、指導者が合計9人が指導にあたり、中学生が専門的指導を受けられる機会を設けることができた。

また初心者でも参加可能としたことにより、経験したことのないスポーツについて、興味をもち、参加してもらうことができた。

参加者数が当初計画より少なかったことを除けば、概ね計画通りに活動を行うことができた。

●今後に向けて

○ソフトテニスにおいては学校部活動を行わない日を設けることにより地域クラブに参加しやすい環境づくりを進める。

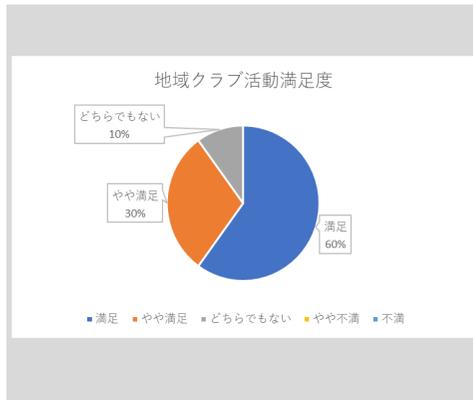
○初心者でも参加しやすい活動となるよう検討を進める。

○地域クラブ活動の種目を拡大するにあたり、指導者・練習会場の確保、学校との更なる連携を進める。

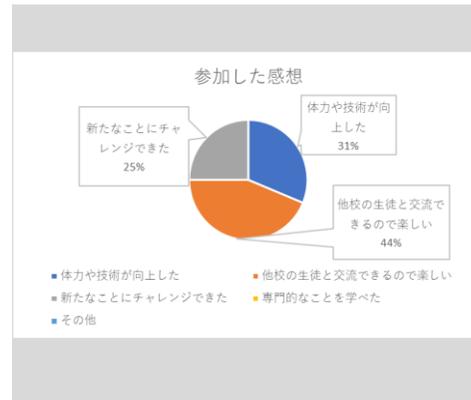
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

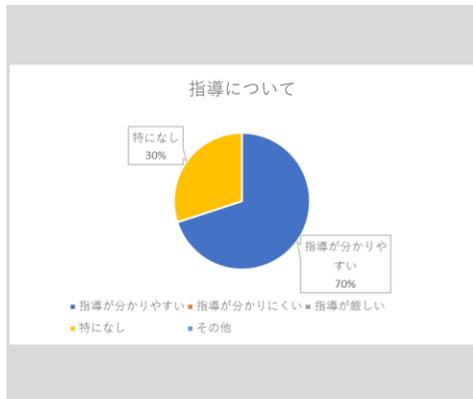
Q.中学生地域クラブ活動の満足度について



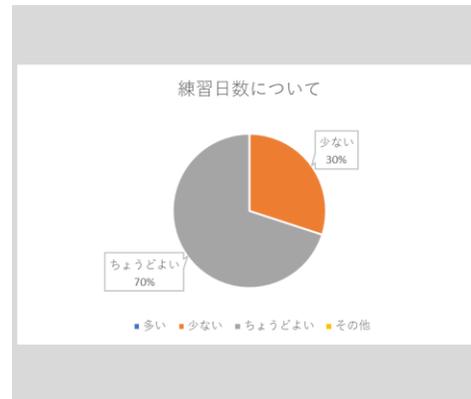
Q.参加した感想について



Q.指導について



Q.練習日数について



●参加者の声

中学1年生

地域クラブに参加することで、ほかの学校の生徒と交流ができてよかった。また指導も分かりやすくてよかった。

中学3年生

平日は学校部活で行い、土曜の内、月2回が地域クラブ活動であった。今まで部活動として行っていた土曜日の部活動の代わりとしてはちょうど良いと思います

指導者

剣道の練習会場について、熱中症事故防止のため、特に夏季期間は空調設備のある施設を使用できるようにしてほしい。

指導者

地域クラブの練習日を設定していた日に、学校行事が重なり、生徒が来ない日があった。学校との連携をもっと図ってほしい。

2.実証内容と成果③

アンケート結果・広報資料

地域クラブ活動の満足度については、90%が満足、やや満足と回答している。また、指導についても70%が指導が分かりやすかったと回答している。

活動日については、ちょうどよいとの回答が70%、少ないとの回答が30%あった。

生徒・保護者のみなさまへ

令和6年度実証事業 五泉市中学生地域クラブの参加募集について（ご案内）

全国的に少子化による生徒数の減少により、中学校での部活動が成り立ちにくくなり、活動内容の制限や廃部となる部活動が増えつつあります。そのような中、国では令和5年度より休日の部活動を積極的に地域に移行する取組を始めました。

五泉市でも、中学生の皆さんが継続的に自分のやりたい活動が実現でき、活動の幅を広げていこうとしています。それが五つの地域クラブは、学校の部活動とは別の参加希望者による活動の部活動をもっと教えてもらいたい」「自分が加入している部活動以外の部活動にはない種目に触れてみたい」といった多様な参加がでました。各活動の内容は競技力の向上や技術を指導することを目的とし参加可能です。学校の枠を超え、地域の指導者と一緒に関わり、今年度は「新選」「ソフトテニス」の2種目ですが、今後はスポーツ開始を目指して準備を進めています。参加を希望する中学生の皆さまをしてください。

五泉市中学生地域クラブのご案内

■剣道	1 運営主体 泉桜剣士会
2 主な指導者 市内の剣道連盟に所属する有志者が指導を行います。	
3 実施日 第1回 7/27(土) 総合会館中ホール	
及 び 第2回 8/3(土) 総合会館中ホール	
実施場所 第3回 8/10(土) 総合会館中ホール	
第4回 8/17(土) 総合会館中ホール	
※第5回は開催日未定となります。	
4 実施時間 9:00~11:30	
5 持ち物等 担任持っている剣道用具、水筒、タオル、履替スリ	
■ソフトテニス	1 運営主体 五泉ソフトテニス協会
2 主な指導者 高津 恒生、高津 梨奈	
3 実施日 第1回 7/27(土) 総合会館大ホール	
及 び 第2回 8/17(土) さくらアリーナ	
実施場所 第3回 8/31(土) 泉桜公園テニスコート	
第4回 9/14(土) 総合会館大ホール	
第5回 9/28(土) さくらアリーナ	
※第6回は開催日未定となります。	
4 実施時間 9:00~12:00	
5 持ち物等 テニスラケット、運動ができる服装、運動靴またはテニスシューズ、水筒、タオル、履替スリ等	
※活動場所が屋内の場合は汚損着	

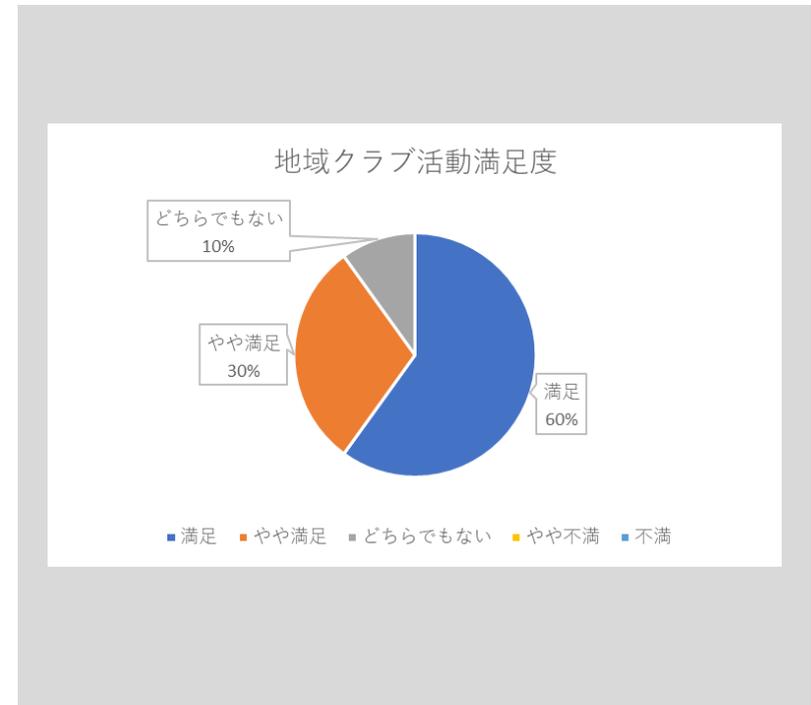
問い合わせ先
五泉市教育委員会
電話 0250-
FAX 0250-
e-mail sakaki

剣道
申込フォームはこちら →

ソフトテニス
申込フォームはこちら →

【生徒への参加募集チラシ】

出典:五泉市教育委員会学校教育課



【アンケート結果】

出典:五泉市教育委員会学校教育課

2.実証内容と成果④

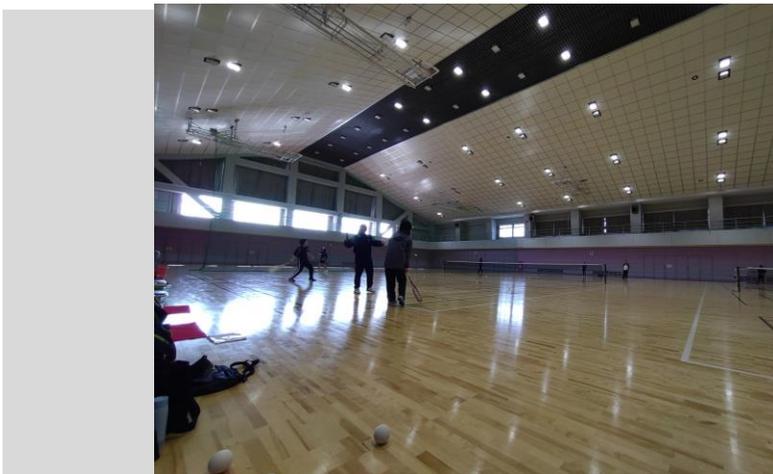
参考資料（活動写真）



【ソフトテニス 市体育館での練習の様子】



【剣道 市体育館での練習の様子】



【ソフトテニス 市体育館での練習の様子】



【剣道 市体育館での練習の様子】

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年

部活動の在り方検討委員会設置

受け皿団体や指導者の選定

学校現場との調整

令和5年

休日の部活動の地域移行推進方針を策定

令和6年

地域クラブ活動の開始

令和7年

地域クラブ活動の拡大

ステークホルダー

学校、スポーツ協会、文化協会、競技団体、生徒、保護者、市教委（学校教育課、スポーツ推進課、生涯学習課）、コーディネーター

経過

令和4年度に「五泉市部活動の在り方検討委員会」を設置し、今後の部活動の地域移行について検討し、令和5年度に「休日の部活動の地域移行推進方針」を策定した。令和6年度は、五泉市教育委員会が運営主体となり地域クラブ活動を開始した。

実施内容

7月からは市内3中学校の2種目の部活動において、休日の地域クラブ活動を開始した。ソフトテニスにおいては月2回、地域クラブ活動へ参加する試験的な取組を開始し、剣道においては毎週休日の部活動を取りやめた。

実施にあたって生じた課題

休日のクラブ活動において、現在は運営主体が教育委員会のため、活動場所の予約や謝金の支払い事務等を行っているが事務負担が大きい。今後どのように運営すべきか協議を進めていく。

また、種目によっては指導者の不足が大きな課題として指摘されている。関係課やスポーツ協会と連携し、指導者募集について関係者への働きかけを検討している。

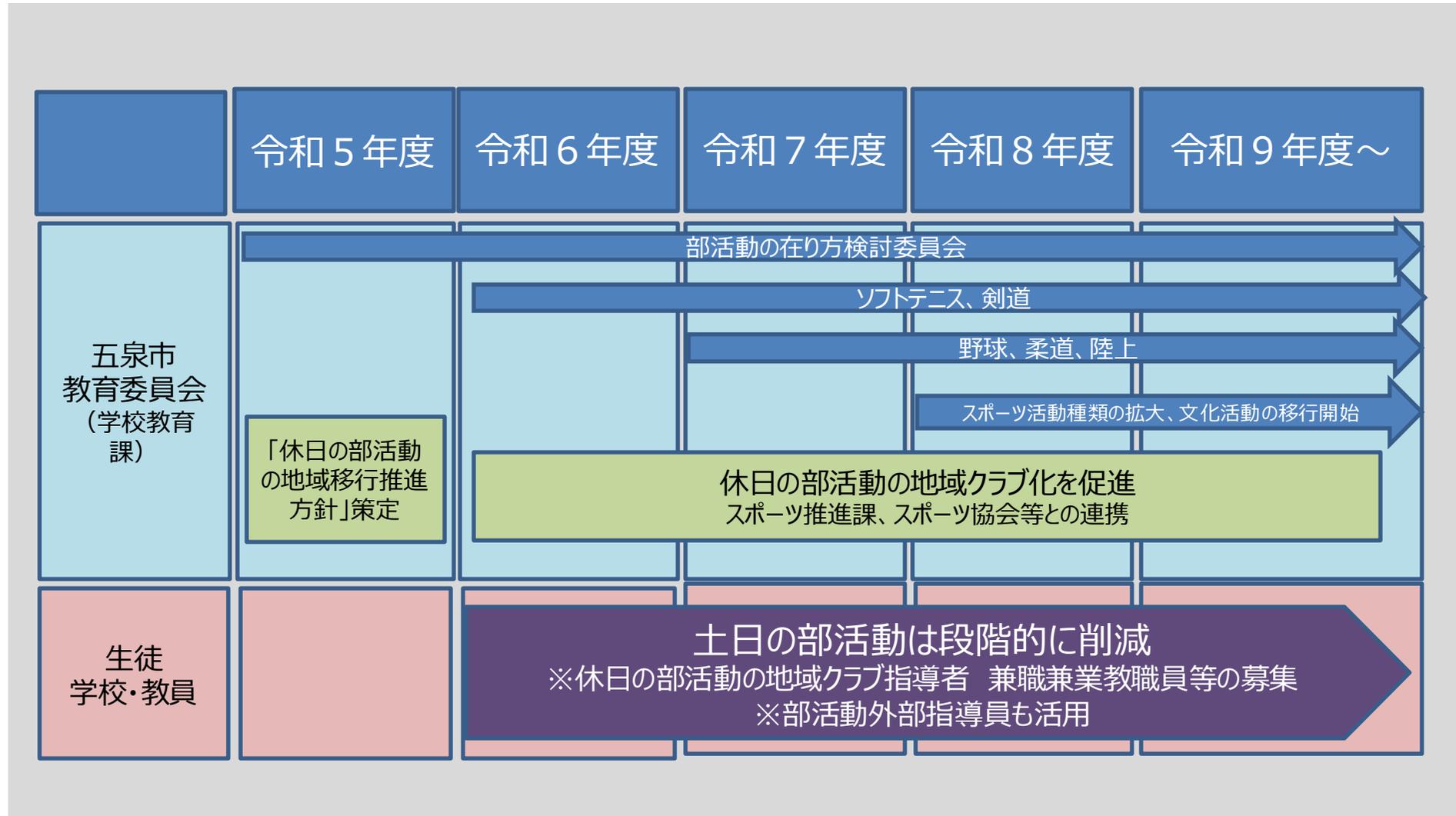
今後の展開

令和7年7月からは、ソフトテニス部のある市内3中学校の6部活動において月2回の休日の部活動を取りやめ、地域クラブ活動へ参加する取組を開始する。

また、野球部のある3中学校において、4月より地域クラブ活動を実施する。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ



令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

新潟県 上越市

自治体名：新潟県上越市

担当課名：上越市教育委員会 スポーツ推進課、地域クラブ活動推進室

電話番号：スポーツ推進課（025-545-9246）、地域クラブ活動推進室（025-545-9267）

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	973.89 km ²
人口	181,419 人
公立中学校数	22 校
公立中学校生徒数	4,741 人
部活動数	134 部活 (21 部活)
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	策定済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

上越市の中学校の部活動を巡っては、少子化等の影響により、単独校でチームが組めない、専門的な指導ができる顧問が少ない、多様な種目・志向のニーズに応えられないなどの状況があり、教員の働き方改革も踏まえた対応が必要となっている。このため、少子化の中でも将来にわたり、子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に親むことができる機会を確保し、地域住民にとってもより良いスポーツ・文化芸術活動環境となるよう、国が示した「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」等を踏まえ、地域クラブ活動の整備を進める。

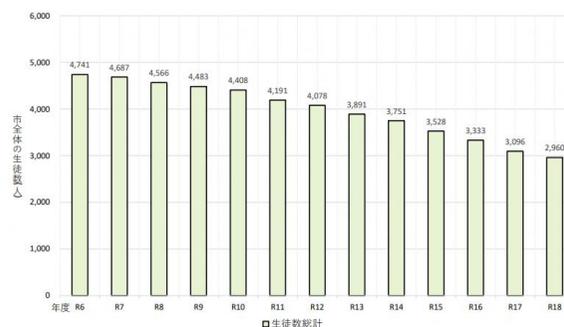
「学校部活動の地域展開」の取組を、上越市においては、「部活動を地域に移す取組」とはとらえずに、「学校における部活動の改革」と「地域における子どもたちのスポーツ・文化芸術活動の環境整備」という二つの取組を関係者が連携して進めるものという考え方をとする。

現在の部活動の形を地域に移そうとするのではなく、地域で行われている多様な活動を基盤として、足りない部分は関係者が相談したり、協力したりしながら新たな活動を起こして、地域における子どもたちの活動環境を充実させていくという考え方により進める。この取組は、子どもも大人も身近にスポーツや文化芸術に親しみ、世代を超えて交流する中で、人と人が豊かにつながるまちをつくることに通じるという認識を関係者が共有し、それぞれが主体者としてかかわる取組を展開することとしている。

今後の中学校生徒数の推移[見込み]

(国立1校、県立1校を含む)

令和6年度から令和18年度の間に、生徒数は約37.6%減少する見込み



※令和7年度以降の入学人数は、令和6年5月1日現在の住民基本台帳上の人数から推計。

中学校生徒数と運動部員数

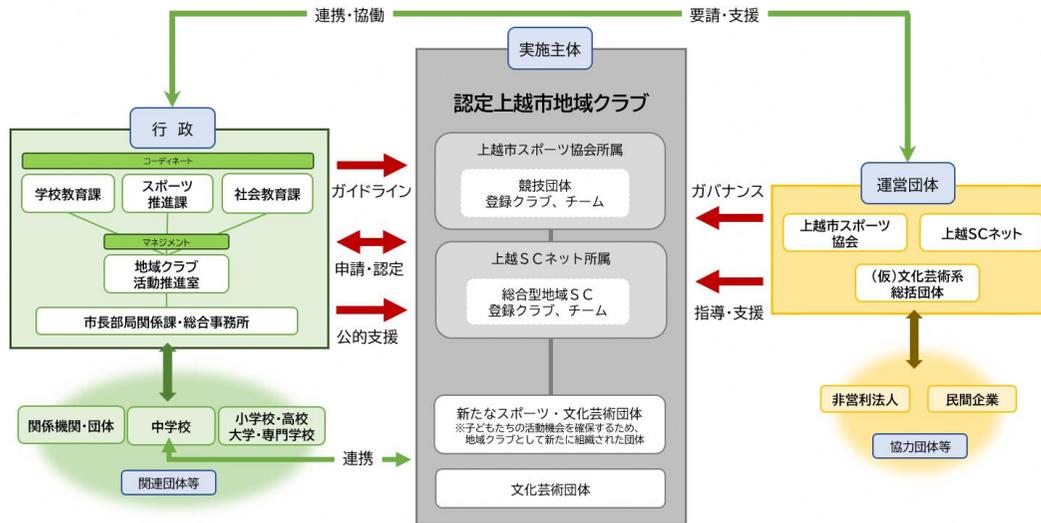
(国立1校、県立1校を含む)

	生徒数	運動部員数	運動部活動数
平成25年度	6,082人	4,173人	270
平成30年度	5,277人 【減少】1,140人 約18.7%	3,691人 【減少】1,045人 約25.0%	246 【減少】39 約14.4% ※参考：R1 文化部活動数 48
令和4年度※	4,942人	3,128人	231 ※参考：R4 文化部活動数 41

※令和5年度に運動部活動数の集計方法が変更になったため、令和4年度の値を記載
※文化部活動数について、平成30年度以前は集計を行っていない

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・地域クラブ活動推進室：地域クラブ活動に関する窓口・広報業務、関係課が行う業務の調整・管理等
- ・学校教育課：学校における部活動改革、学校部活動に関すること、学校との調整・連携
- ・スポーツ推進課：地域におけるスポーツ活動の環境整備、実証事業
- ・社会教育課：地域における文化芸術活動の環境整備、実証事業

◎市長部局

- ・総務課：制度審査
- ・財政課：予算措置
- ・地域政策課：総合事務所にすること
- ・文化振興課：文化芸術団体に関すること

年間の事業スケジュール

- | | |
|---------|-------------------------|
| 令和6年4月 | 指導者講習会の開催 |
| 令和6年5月 | 第1回推進委員会の開催 |
| 令和6年5月 | 第1回地域クラブフェアの開催 |
| 令和6年6月 | 運営団体との意見交換会実施 |
| 令和6年7月 | 小中学生の実態調査
(対象：小4～中1) |
| 令和6年8月 | 第2回推進委員会の開催 |
| 令和6年10月 | 運営団体との意見交換会実施 |
| 令和6年12月 | 第2回地域クラブフェアの開催 |
| 令和6年12月 | 第3回推進委員会の開催 |
| 令和6年12月 | 上越市地域クラブ活動整備方針策定 |
| 令和7年3月 | 第4回推進委員会の開催 |

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- 地域クラブ活動コーディネーターが地域クラブ活動の円滑な実施に向け、運営団体、中学校、指導者等、多方面における連絡調整や安全管理を行うとともに、指導者の資質向上を図る。
- 運営団体の体制整備や人材の確保など、持続可能な運営ができる組織体制の整備を行う。

取組の成果

- 学校関係者・団体やスポーツ関係団体等への定期訪問を行うことで連絡調整・会議運営等を円滑に行うことができた。
- 運営団体に地域クラブ活動事務員を配置し、クラブとの連絡調整、活動状況の把握、保険料の支払い等、実証事業に係る業務を行った。
- 安全管理については、「地域クラブ活動安全管理マニュアル」を策定し、安全安心な地域クラブ活動づくりを推進していく。また、指導者の資質向上については、「上越市地域クラブ活動整備方針」「市地域クラブ活動ガイドライン」にある指導者の質の保障と量の確保をめざし、指導者研修会の開催や地域クラブ活動指導者バンク等の整備と併せて、令和7年度を試行期間として進めていく。



コーディネーターの具体的な動きの実績

【地域クラブ活動コーディネーター】

- ・地域クラブの求めに応じてコンサルティングサービスを行い、地域クラブの経営管理上の問題の解決に向けて、専門的な助言・助力を行った。
- ・運営団体、クラブ指導者への連絡調整を実施

今後の課題と対応方針

- ・地域クラブ活動コーディネーターが関係団体等と恒常的なコミュニケーションができるよう業務内容を精選する。
- ・『スポーツ団体ガバナンスコード〈一般団体向け〉』を準拠したクラブ運営ができるよう運営団体やコーディネーターが引き続き支援する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①【指導者スキルを高める支援】

取組事項

地域スポーツクラブの指導者として適正な資質を満たした人材の育成を図るため、指導者のスキルアップを支援する。

① 指導者資格取得に係る費用の一部給付

概要

- 資質を満たした指導者の確保にむけ、経済面での負担軽減を行い公認資格を取得しやすい環境を整える。
- 日本スポーツ協会公認資格「コーチ1」以上の資格を取得した指導者に対し、受講料の2分の1を乗じて得た額を給付する(上限18,000円)。

資格取得の支援の実績

- ・卓球指導者…1名
- ・水泳指導者…2名

計2種目 3名 (いずれもコーチ1)

今後の課題と対応方針

コーチ1以上の取得に要する時間的な負担等により、資格取得者の確保が困難であった。より多くの指導者の資質向上の機会となるよう、対象となる公認資格の範囲を広げることを検討する。

② 指導者講習会

指導者講習会の内容

日本スポーツ協会公認資格「コーチ1」の内容を参考に各競技共通のテーマを取り上げて実施。

【テーマ】

- これからのスポーツ指導者、スポーツ団体の在り方(ガバナンス、コンプライアンスの観点から)
- 緊張を乗り越えるための指導者の役割
- けがを予防するためのストレッチ

【日時】 令和6年4月13日(土)

※5月11日、7月21日にビデオ講習会を追加実施

今後の課題と対応方針

講義やグループワークを通し、指導者の在り方について考え、現状や疑問・悩みを種目を越えて共有する機会となった。

地域クラブに関わるより多くの人達が受講することが必要なため、対象者の拡大とともに、日程の設定、受講方法の検討等、受講しやすい環境を整える。また、スポーツ、文化共通の講習として関係各課連携のもと開催する。

指導者講習会の参加実績

○受講者数…109人
(※ビデオ講習会を含む)

○指導者の属性

- ・陸上
- ・軟式野球
- ・サッカー
- ・硬式野球
- ・バスケットボール
- ・水泳
- ・ソフトボール
- ・アルパンスキー
- ・剣道
- ・チアリーディング
- ・バドミントン
- ・卓球
- ・ソフトボール
- ・クライミング
- ・空手
- ・ソフトテニス
- ・クラブマネージャー
- 他

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

資料【指導者講習会】

受講者の声

指導者講習会受講者のアンケートより（対象：109人）

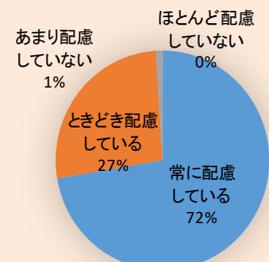
(1)受講者の指導経験

①受講者のスポーツの指導経験年数は？

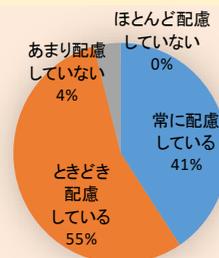


(2)受講者が指導を行う際の配慮について

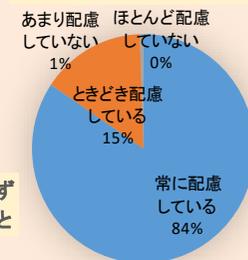
①子どもの能力の差に対する配慮



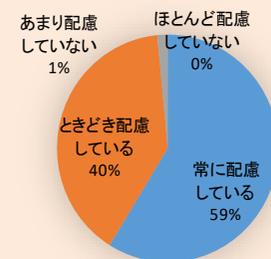
②子どもの間違いや異なる考え方を大切にそこから学ばせる



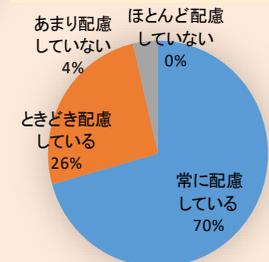
③特定の子どもにひいきせず公平に接すること



④他の子どもを引き合いに出さず本人の良さを見つけてほめること



⑤実技指導だけでなく子どもの健康面・安全面に配慮すること



指導者講習会のチラシ

指導者講習会のご案内

4月13日(土)
9:30～16:00(受付 9:10～)

会場：ユートピアくびき希望館

上越市現城區岡岡町716 (TEL:025-530-2380)

参加対象：中学生をはじめスポーツ活動を行う人達を指導する指導者
参加費：無料
持ち物：筆記用具
服装：当日は軽い運動を行います。動ける格好でお越しください。室内シューズはいいりません

※当講習会は、「中学生の地域におけるスポーツ活動環境整備事業」の指導者認定講習です。認定を希望する指導者は必ず受講してください。また、認定希望者で当日やむを得ず欠席する場合は、後日ビデオ講習会を開催し対応する予定です。予めご連絡ください。



午前の部

TM共同法律事務所
渡部 和哉
弁護士

「これからの指導者及びスポーツ団体の在り方」
～ガバナンス・コンプライアンスの観点から～



午後の部

上越教育大学大学院
池川 茂樹
准教授

「鍛錬で“緊張”は乗り越えられるのか？」
～“緊張”を乗り越えるための指導者の役割を考える～



上越教育大学大学院
長谷川 晃一
講師

「怪我を予防するためのストレッチ」

◆申し込み・問い合わせ◆

上越市教育委員会 スポーツ推進課 (担当:堀首、西條)
〒942-8403 上越市下門前1770 TEL:025-545-9246 FAX:025-545-9273
e-mail: sports-shidosya@city.joetsu.jp

こちらから申込できます▶



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実【地域クラブフェア】

取組事項

○子どもたちの地域におけるスポーツ・文化芸術活動の振興を図り、子どもたちの「やってみたい」活動を見つける場として、スポーツ・文化芸術活動に出会う機会を提供するイベント「地域クラブフェア」を5月と12月の2回開催した。

○12月開催時には子どもたちの活動意欲をさらに高めるため、当市出身のプロ野球選手滝澤夏央選手（埼玉西武ライオンズ）及び女子ソフトボールチーム「太陽誘電ソルフィーユ」の選手（田村虹月選手、曾根はん奈選手、茂呂鈴音選手、須田真琴選手）をゲストに迎え、スポーツ選手に直接触れ合える機会を提供した。

活動の詳細【12月開催】

日時	令和6年12月21日(土)午前9時～午後3時	会場	リージョンプラザ上越
参加団体数	35 団体（スポーツ団体20、文化芸術団体15）	来場者数	866 人
具体的な内容	参加団体による活動紹介ブースの出展と活動体験、PRステージでの演技披露、ゲストとの交流、スタンプラリーによる抽選会 など		
来場者の声	<ul style="list-style-type: none">● 滝澤選手を間近で見ることができて、嬉しかった。（子ども）● 子どもに貴重な体験をさせることができてよかった。（保護者）		

取組の成果【12月開催】

○子どもたちの「やってみたい」活動を見つける場として、前回より出展ブースを広く間取りし、スペースに制限された活動体験にならないようにした結果、多くの来場者が各ブースの体験に参加してくれた。

○前回までは紙媒体のチラシを学校を通して子ども・保護者の手に渡るよう配布していたため、保護者の方々に渡っているか不明確だった。今回は、校務支援システムを利用し、チラシデータを学校を通して保護者に配信してもらったことで、スムーズに周知することができた。

○上越市の地域特性を生かし、地域クラブ、会場、地元大学生の協力もあり、グリーンスポーツとウィンタースポーツの両方を体験できる機会を提供できた。

今後の課題と対応方針

○冬の開催は集客が難しかったため、開催時期を検討する必要がある。

○出展団体が大きな音を出す、体験内容でスペースが必要等の場合、ブース配置場所を検討する必要がある。それを踏まえ、より多くの体験ができ、活動内容が制限されないよう、施設全体を活用した企画をする。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

① 保険料相当額の支援

取組事項

子ども及び指導者が地域クラブで安心して活動することができるよう、保険料相当額の支援をすることにより、保険加入の大切さを周知し、加入の徹底を図った。

○対象となる保険…スポーツ安全保険等、活動時の傷害・賠償リスクに備えた保険

○支援の額…加入保険料の額と次の上限額のいずれか低い方の額
・中学生 800円/1人 ・指導者 1,850円/1人

取組の成果

○保険料支援の実績 ・中学生 831人 ・指導者 163人

○令和6年度は登録地域クラブの生徒、指導者の全員の保険加入をめざした。令和5年度では保険加入に対し難色を示していたクラブがあったが、令和6年度は保険の必要性への理解が進み、一定の成果を得た。

○保険の必要性に対して周知を図る中で、地域クラブ活動における責任の所在やリスク管理についてクラブ内で考える機会になり、概ね意識共有を図ることができた。

今後の課題と対応方針

本来、保険は「自身を守るためのもの」であることから自己負担が原則と考える。今後は受益者負担による保険の全員加入をめざし、進めていきたい。

② 指導者謝金の支援

取組事項

指導者謝金の支援を行うことにより、指導者としての資質を満たした人材の確保を図るとともに、適正な指導報酬の支払いや収支バランスについて各地域クラブに検討を促し、持続可能な地域スポーツクラブ活動のための環境整備を進めた。

○支援の額…1,500円/時間 1日あたり3時間を上限とする。

○指導者の要件 ・教員の資格を有している人
・日本スポーツ協会コーチ I 以上の資格を有している人
・市主催の指導者講習会を受講している人

取組の成果

指導に対し適正な対価を支払うという基本的な認識が広がったことは一定の成果である。ただ、制度上、指導者個人への謝金支払であるため、クラブ自体の支援につながりにくいという声もあがった。

今後の課題と対応方針

会費の設定が低く、謝金の支払いを実証事業に頼っているクラブが多くある。受益者負担に対する認識を浸透させ、謝金の支援が自立化へのステップとなるよう収支の見直しを促し、組織の成長を求めていく。

また、令和7年度は指導者に必要とされる最低限度の知識・技術を求めつつ、資格の要件を広げることで、楽しみ志向のクラブや多様な活動を行うクラブに対しても対応できる支援としていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

③ チーム登録申請書・収支報告書の提出

取組事項

○取組事項①および②の実証事業に参加する地域クラブには、チーム登録申請書（右記参照）や収支報告書の提出を必須とした。これにより、各地域クラブが組織内で方針の確認や共有、収支の見直しを行う機会を提供し、持続可能な活動ができる組織づくりを推進した。

取組の成果

○チーム登録申請書や収支報告書に不明確なところがあり、再提出をしてもらったチームもあったが、可視化することにより、チーム実態を見直すきっかけを与えた。
 ○提出の際、ヒアリングをすると「運営する」という認識の低さ（現在の悩みは何か、会計報告・規約作成、チーム内での共有など）が見受けられた。

今後の課題と対応方針

○令和5・6年度の実証事業を活用し、その支援を足掛かりに会費設定を見直した団体はほとんどなく、極端に会費が低い、ボランティアで運営している団体がまだ多くあり、受益者負担に対する認識が浸透していない。実証期間最後の年度になる令和7年度では、支援が終了する令和8年度から受益者負担で持続可能な活動ができるよう、チーム登録申請書の内容を項目別に詳細にしたものと、指導者謝金の支援を含めない収支予算書を提出してもらい、今まで以上に運営体制や収支構造の見直しを促し、組織づくりを推進していく。また、単独で自立が難しいクラブに対してはクラブ運営を運営団体に委ねる等、クラブ組織の見直しを提案し、持続可能な地域クラブにむけて整備を進めたい。

競技名		加盟団体(いずれかに○を記入)		令和 年 月 日 現在		
フリガナ チーム名		上越市スポーツ協会・上越SCネット・未加盟				
フリガナ 代表者名		設立年(西暦)	チーム編成	加入可能な年齢(チーム編成)	所属指導者数	運営1回当たり指導者数
		年	男・女・混成	小・中・高	人	人
フリガナ 代表者名		住所		電話番号	mail	
フリガナ 氏名		フリガナ		電話番号	mail	
活動場所(複数ある場合は、全てご記入ください)		定期的な練習の活動日、活動時間帯				
月実費(複数の実費区分がある場合は、区分ごとにご記入ください)		月実費以外の負担額(月当たり)		加入時の負担額(入会費、登録料、運営代、練習費等)		
加入している保険		指導者単位の謝礼金額(交通費等含む)	所属選手人数	チームホームページの有無		
おこなった支出の内訳(年間)			小 人、中 人、高 人	HP・SNS・その他【 】・無		
指導者として 教員の任用予定の有無		有・無	教員を任用した際の謝金・報酬金額	チーム参加条件	市町村外からの参加の可否	
項目		取組内容	抱える課題	チーム方針(それぞれ、いずれかに○を記入)		可・否
※チームのことについてお書きください	指導者の確保			※「1」が最も項目に対する考え方が強く、「5」が最も項目に対する考え方が強い		中体連・吹奏楽連盟主催大会・コンクールへの参加予定の有無
	指導者の育成			競技性重視 1・2・3・4・5	楽しさ重視 1・2・3・4・5	有・無
	会場の確保			人間形成 1・2・3・4・5	仲間づくり 1・2・3・4・5	公表の可否※住所除く
	チームの経営(事務負担等)			★実証事業活用希望の有無		指導料・保険料・無(希望のものに○を記入)
	活動の周知			市処理権(何も記入しないでください)		実行
自チームのことでその他自由記載	地域における子どもたちのスポーツ活動の環境整備に向けたチーム登録について、上記チームの登録を承認しました。					
	登録可否					可・否
	チーム管理番号					

2.実証内容と成果

- ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
- イ：指導者の質の保障・量の確保
- ウ：関係団体・分野との連携強化
- エ：面的・広域的な取組

- オ：内容の充実
- カ：参加費用負担の支援等**
- キ：学校施設の活用等
- ク：その他の取組

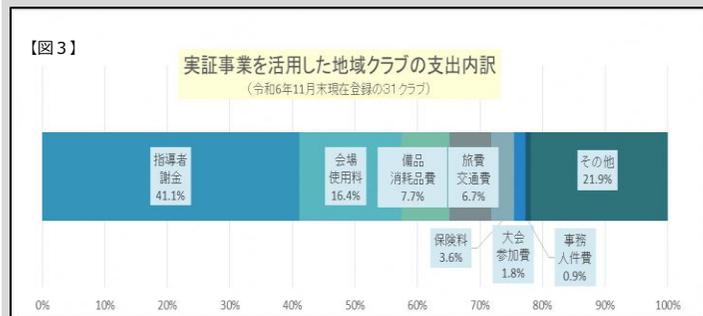
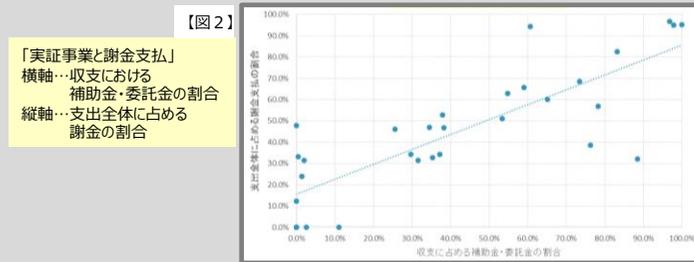
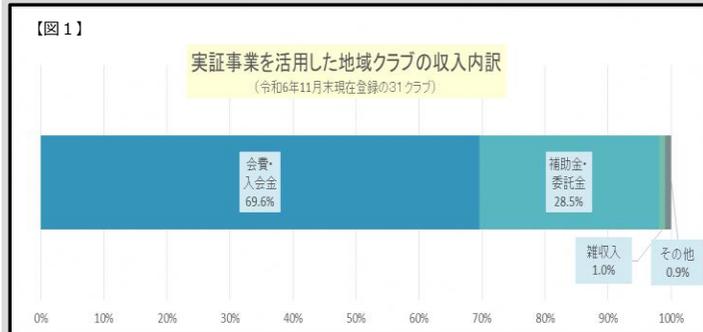


取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等③

資料 地域クラブにかかる経費・収支バランス

※31クラブから提出された収支報告書を集計したもの



○実証事業を活用する地域クラブ（令和6年11月末時点で登録のあった31クラブ）の収支をまとめた。全体で見ると収入のうち約3割（28.5%）を実証事業等の補助金・委託金が占めている（図1参照）が、各クラブによりその割合にばらつきがあり（図2参照）、受益者負担を原則とした持続可能な収支バランスの検討について、個々の状況を踏まえながら個別の細やかな提案・働きかけが必要である。

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

- 【令和5年度】【令和6年度】
 ・指導者謝金…1人1,500円/1時間
 ・保険料の支援…スポーツ安全保険等の保険料相当額

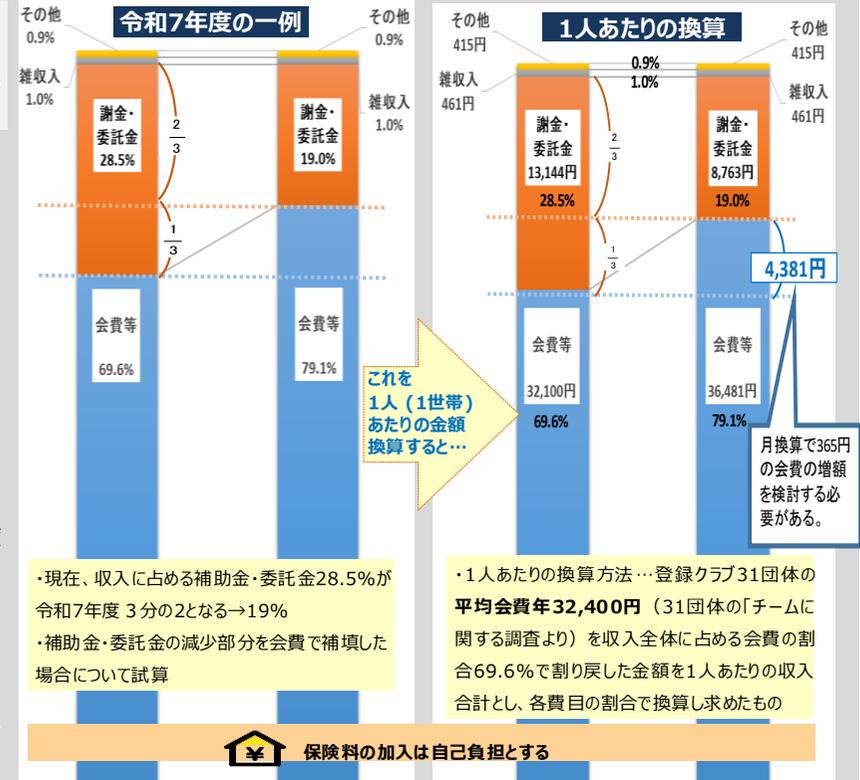
例えば

- 【令和7年度】
 ・謝金の支援…1,500円→1,000円
 ・保険料の支援…なし（自己負担）
- 【令和8年度以降】
 ・謝金の支援…なし
 ・保険料の支援…なし

…とした場合

・支出額を【図3】のままで想定し
 収入の内訳を【図1】をもとに令和7年度を試算する。

（※イメージを捉える目的であるため、「補助金・委託金」=謝金と仮定）



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等④

資料 ○実証事業活用のバスケットボールクラブAを参考に、各パターンごとに収支を可視化し、必要な受益者負担額、会費設定の検証した。

パターンA 支援あり【1時間1,500円保険料800円】、令和6年度実証事業活用、決算報告書引用

クラブ概要

登録人数	14人
スタッフ数	1人
活動回数	44回/年
会費	1500円/月
試合	4回/年
入会金	0円

指導者謝金

・メインコーチ	1人	練習	44回	試合	4回
・アシスタントコーチ	1人	練習	44回	試合	4回
・事務スタッフ	1人	練習	44回	試合	4回

単価を設定（時給/回数）
 3000円/回（※1回活動2H、時給1,500円）

年間クラブ運営費

指導者謝金（メイン・アシスタントコーチ）	144000
事務スタッフ謝金	0
保険料	11200
スポーツ団体登録料	0
ユニフォーム代	0
運営ツール	0
備品・消耗品費	53000
会場使用料	40000
旅費・交通費	55000
大会参加費	55000
その他	37000
合計	395200

年間クラブ収益

月会費	240000	※12か月12人、8か月2人 160か月分
入会金	0	
行政からの補助金・委託金	155200	※3,000円×48日分、保険料
その他（協賛金等）	0	
合計	395200	

※12か月12人、8か月2人 160か月分
 ※3,000円×48日分、保険料

※運営個人登録料・選任・大会等の費用は別途徴収
 差額 0

パターンB 支援あり【1時間1,000円、保険料支援なし】 受益者負担で謝金支払い1時間1,500円、保険料自己負担

クラブ概要

登録人数	14人
スタッフ数	1人
活動回数	44回/年
会費	1500円/月
試合	4回/年
入会金	0円

指導者謝金

・メインコーチ	1人	練習	44回	試合	4回
・アシスタントコーチ	1人	練習	44回	試合	4回
・事務スタッフ	1人	練習	44回	試合	4回

単価を設定（時給/回数）
 3000円/回（※1回活動2H、時給1,500円）

年間クラブ運営費

指導者謝金（メイン・アシスタントコーチ）	144000
事務スタッフ謝金	0
保険料	0
スポーツ団体登録料	0
ユニフォーム代	0
運営ツール	0
備品・消耗品費	53000
会場使用料	40000
旅費・交通費	55000
大会参加費	55000
その他	37000
合計	384000

年間クラブ収益

月会費	240000	※12か月12人、8か月2人 160か月分
入会金	0	
行政からの補助金・委託金	96000	※2,000円×48日分、保険料支援なし
その他（協賛金等）	0	
合計	336000	

※12か月12人、8か月2人 160か月分
 ※2,000円×48日分、保険料支援なし

※運営個人登録料・選任・大会等の費用は別途徴収
 差額 -48000
 会費追加分 300
 現在の会費 1500
新会費 1800

パターンC 支援なし 受益者負担で謝金支払い1時間1,500円、保険料自己負担

クラブ概要

登録人数	14人
スタッフ数	1人
活動回数	44回/年
会費	1500円/月
試合	4回/年
入会金	0円

指導者謝金

・メインコーチ	1人	練習	44回	試合	4回
・アシスタントコーチ	1人	練習	44回	試合	4回
・事務スタッフ	1人	練習	44回	試合	4回

単価を設定（時給/回数）
 3000円/回（※1回活動2H、時給1,500円）

年間クラブ運営費

指導者謝金（メイン・アシスタントコーチ）	144000
事務スタッフ謝金	0
保険料	0
スポーツ団体登録料	0
ユニフォーム代	0
運営ツール	0
備品・消耗品費	53000
会場使用料	40000
旅費・交通費	55000
大会参加費	55000
その他	37000
合計	384000

年間クラブ収益

月会費	240000	※12か月12人、8か月2人 160か月分
入会金	0	
行政からの補助金・委託金	0	※指導者謝金支援なし、保険料支援なし
その他（協賛金等）	0	
合計	240000	

※12か月12人、8か月2人 160か月分
 ※指導者謝金支援なし、保険料支援なし

※運営個人登録料・選任・大会等の費用は別途徴収
 差額 -144000
 会費追加分 900
 現在の会費 1500
新会費 2400

パターンD 支援なし 受益者負担で謝金支払い1時間1,000円、保険料自己負担

クラブ概要

登録人数	14人
スタッフ数	1人
活動回数	44回/年
会費	1500円/月
試合	4回/年
入会金	0円

指導者謝金

・メインコーチ	1人	練習	44回	試合	4回
・アシスタントコーチ	1人	練習	44回	試合	4回
・事務スタッフ	1人	練習	44回	試合	4回

単価を設定（時給/回数）
 2000円/回（※1回活動2H、時給1,000円）

年間クラブ運営費

指導者謝金（メイン・アシスタントコーチ）	96000
事務スタッフ謝金	0
保険料	0
スポーツ団体登録料	0
ユニフォーム代	0
運営ツール	0
備品・消耗品費	53000
会場使用料	40000
旅費・交通費	55000
大会参加費	55000
その他	37000
合計	336000

年間クラブ収益

月会費	240000	※12か月12人、8か月2人 160か月分
入会金	0	
行政からの補助金・委託金	0	※指導者謝金支援なし、保険料支援なし
その他（協賛金等）	0	
合計	240000	

※12か月12人、8か月2人 160か月分
 ※指導者謝金支援なし、保険料支援なし

※運営個人登録料・選任・大会等の費用は別途徴収
 差額 -96000
 会費追加分 600
 現在の会費 1500
新会費 2100

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

今年度の重点目標として、指導者の確保、場所の確保、機会の提供、移動手段の確保に加え、受益者負担を念頭に置いたクラブ運営の支援に取り組んだ。特に、指導者に関しては指導者の質の確保・保障、適切な指導の実施に関する方策について検証を行った。

・日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格等の取得の支援に対して、3名が資格等を取得することができた。

・上越教育大学と連携し、市の独自性を高めた指導者研修会を開催するとともに、指導者研修プログラムを整備することができた。

また今年度、「地域クラブ活動推進室」が設置され、関係課が行う業務の調整・管理等、地域クラブ活動の整備に係る業務のマネジメントを行うことができた。

●成果の評価

本事業を通じて、実施主体が持続可能な運営体制を構築するための収支構造の分析や参加する中学生の安全・安心を確保することの意識付けを行うことができた。

さらに、地域クラブ活動コーディネーターの配置により、関係者間の連絡調整や相談を行いながら、経営管理上の課題の解決に向け、専門的助言・助力の提供ができた。

また、指導者講習会の開催や資格取得に対する支援により、多様な担い手が参加しやすい環境づくりにつながった。

地域クラブフェアの開催では、中学生に限らず、小学生や幼児も対象とし、幼少期から地域のスポーツ活動を知ってもらう機会となり、活動に参加するきっかけを提供するものとなった。

●今後に向けて

当市では、部活動の地域展開を単に部活動に代わる生徒の活動の受け皿を地域に作ることに止めることなく、地域住民が世代を超えてスポーツに親しむスポーツ文化を地域に根付かせていく「まちづくり」としての性格を持つ取組と捉えており、幅広いスポーツ団体、住民の主体的参加を得ながら進めたいと考えている。

この「まちづくり」の視点を市民に幅広く周知・共有しながら地域クラブ活動整備のあり方を検討していく。

参考資料

上越市 地域クラブフェア 2024

12/21日 AM10:00~PM3:00
リージョンプラザ上越

入場無料 申込不要

系群商品がもらえる!!
スタンプラリー&
じゃんけん大会

太陽誘電ソルフィユ
選手が来場!!

みんなで会場を盛り上げます!!

プロ野球選手
埼玉西武ライオンズ
滝澤選手
(上越市出身)
来場決定!

●一緒に体を動かそう!! ●滝澤選手とO×クイズ!
●滝澤選手も各ブースを回って体験!
※観戦予約なく、本人の参加・出演が中止になる可能性があります

ホームページはこちら!!
参加クラブのプロフィール
などを観ることができます

<主催>上越市教育委員会(問合せ先:地域クラブ活動推進室 ☎025-545-9267)
<協賛>雪だるま高原キュービットバレイ・太陽誘電ソルフィユ・スーパーベーススポーツゼビオ上越店・スポーツデポ上越店
<協力>上越市スポーツ協会・上越SCネット・上越教育大学アイスホッケー部

【 地域クラブフェア チラシ表 】

地域クラブフェア参加団体 (35団体[スポーツ団体20団体、文化芸術団体15団体])

各団体ブースで体験ができるよ!!

スポーツフェスティバル	新潟県スポーツチャンバラ協会上越支部「疾風会」	空手道	上越市空手道連盟
スピードスケート	上越スピードスケートクラブ	多種目	NPO法人 スポーツボアDEW
バスケボール	UPBEAT U-15	カポエイラ	GUETO CAPOEIRA上越
カリアー大賞	ジュニアカンフー教室	硬式テニス	フィティーンクラブ
硬式テニス	ファーストテニスアカデミー	野球	上越学童野球連盟
競艇スロウ37	NPO法人 ユートピアくびきスポーツクラブ	剣道	上越市剣道連盟
アイスホッケー	上越ハリケーンズ	競技ダンス	上越ジュニアダンススポーツクラブトッキー5
フィギュアスケート	アイビスケーティングクラブ	ソフトボール	上越桜花ソフトボールクラブ
剣道	頭越大滝少年剣道	チアリーディング	Treasures Cheer・Spinnels
柔道	柔道クラブ	武道	順道徳牛木塾
マーチングバンド	Marching Band BRAVE/上越マーチングバンド	eスポーツ	上越妙高eスポーツクラブ
将棋	将棋教室 一歩	百人一首	上越百人一首かるた育成会
プログラミング	株式会社タキサン (bitbit)	剣道舞・舞踊	藤尾流舞会
ボードゲーム	青空ボードゲーム会	殺陣・演劇	殺陣チーム 越後野猿衆
バクアジ37	ギャラリ一空のおもちゃ箱	ヨガ	NPO法人 新潟ヨガ療法士協会 上越支部
観音楽	上越総合技術高等学校 観音楽部	雅楽	月影雅楽保存会
ゴスペルコーラス	J・O・Y. Gospel	合唱	グルボ・カントール

PRステージタイムスケジュール (内容については変更になる場合があります)

★その場で参加・体験が可能 ※氷上体験は事前申込が必要(参加費無料)

インドアスタジアム		アイスアリーナ	
10:10	ジュニアカンフー教室 演武披露・体験★	10:15	氷上体験受付開始/ロッカー入場
10:22	上越市空手道連盟 演武披露	10:40	氷の上って楽しいよ!(氷上体験会)※ みんなでスケートिंगの基礎を体験した後に それぞれの競技をすべて体験します!
10:34	Treasures Cheer・Spinnels パフォーマンス披露	①フィギュアスケート ②スピードスケート ③アイスホッケー	
10:46	GUETO CAPOEIRA上越 パフォーマンス披露		
10:58	藤尾流舞会 演舞披露	12:15	各競技のクラブの方によるデモンストレーションあり <デモンストレーション時間> 11:00-11:05 アイビスケーティングクラブ 11:30-11:35 上越スピードスケートクラブ 11:50-11:55 上越学童野球連盟アイスホッケー部
11:10	上越市剣道連盟 演武披露		午後一般観客のため、体験会はありません
11:22	Marching Band BRAVE 演奏披露		
11:34	J・O・Y. Gospel パフォーマンス披露		
11:50	太陽誘電ソルフィユと交流タイム★ パフォーマンス披露&ソフトボール体験		
12:35	滝澤選手と交流タイム★ 「一緒に体を動かそう!!」O×クイズ!		
13:20	上越学童野球連盟 パフォーマンス披露		
13:32	上越総合技術高校 観音楽部 演奏披露		
13:50	滝澤選手が各ブースを回って体験! 「一緒に体を動かそう!!」O×クイズ!		
14:20	じゃんけん大会★ 豪華景品は誰の手に!?		
15:00			

氷上体験会/連絡事項

- ▶手袋を持参してください (200円で販売あり ※貸しに限りあり)
- ▶ヘルメットを着用してください (無料貸出あり)
- ▶持参できる方は自転車用のヘルメットでも可
- ▶2階観覧席から自由に観覧できます (入退場随時可)
- ▶アイスアリーナ内はともなう寒いので防寒着の着用をお勧めします

皆さんの来場をお待ちしています!!

【 地域クラブフェア チラシ裏 】

2.実証内容と成果③

参考資料（地域クラブフェア活動写真）



【 滝澤選手との交流タイムの様子 】



【 剣道連盟 ブース内体験の様子 】



【 地域クラブフェア 会場全体の様子 】



【 アイスホッケー デモンストレーションの様子 】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



●ステークホルダー

市中学校長会、市スポーツ協会、上越SCネット、競技団体
市教委、市長部局、推進委員会

●経過

令和4年度より推進委員会を設置し、「学校部活動の地域展開」の取組を、上越市においては、「学校における部活動の改革」と「地域における子どもたちのスポーツ・文化芸術活動の環境整備」という二つの取組を関係者が連携して進めるものにとらえ、令和5年度に令和8年度までの推進計画を策定した。

●実施内容

令和6年度は、関係者や関係団体等へのヒアリング、推進委員会での検討を経て、市スポーツ協会と上越SCネットを運営団体とした新たな地域クラブ体制に向けた「上越市地域クラブ活動整備方針（市地域クラブ活動ガイドライン、市地域クラブ認定制度を含む）」を策定し、地域クラブや小中学校保護者、地域クラブを新規で創設を考えている方等を対象に複数個所でオンライン参加者を含めて説明会を実施した。

●実施にあたって生じた課題

持続可能な地域クラブ運営に必要な受益者負担の考え方を地域クラブ運営側、保護者、双方の理解の促進が求められる。特に、保護者の理解を得るために、市公式SNS等で地域クラブの紹介やパンフレットを通して会費負担の必要性について説明する。

また、指導者の量の確保が課題として指摘されている。指導者バンクと地域クラブからの指導者等を求人する取組を統合した「上越市地域クラブ活動指導者等マッチングサポート」を実施する。関係団体・機関等や地域の企業等へ指導者等の募集や地域クラブへの周知等をするなど、コーディネーターによる関係者への働きかけを検討している。

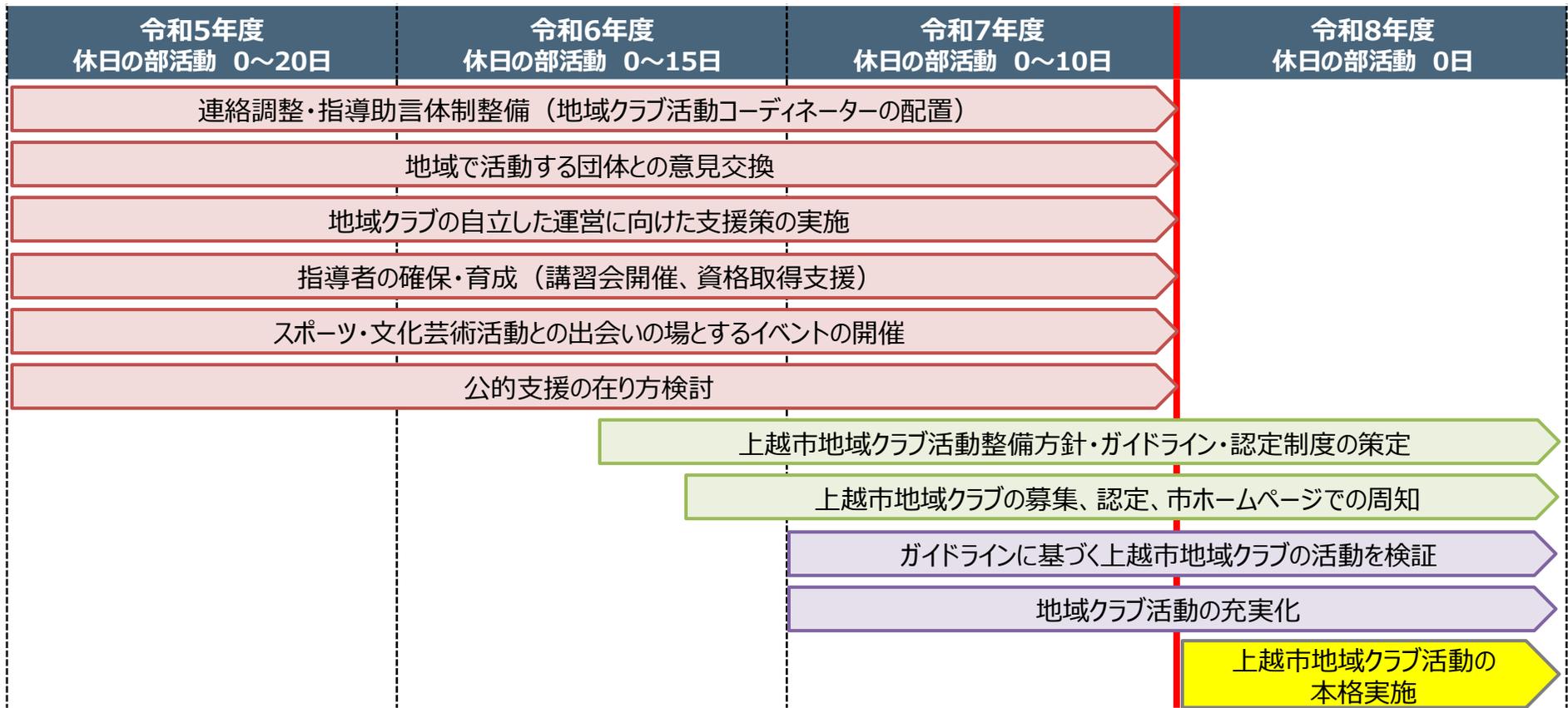
●今後の展開

令和7年度を地域クラブ活動に係る各種取組や制度設計等の試行期間と位置づけ、令和8年4月から市内すべての中学校において、休日の学校部活動は行わず、スムーズに地域クラブ活動が実施できる環境整備のため、試行期間中に生じた課題の解決を進める。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

- 目指すありたい姿** 子どもも大人も身近にスポーツや文化芸術に親しみ、交流し、つながるまち
- 活動理念**
 - ① 子どもたちの主体的で多様な「やってみたい」を支える
 - ② 活動を通じて、子どもたちや活動を支える人たちの一人一人のウェルビーイングを高める
- 進め方** まずは「休日」における地域クラブ活動の整備を推進する
(平日は休日の取組状況等を検証しながらできるところから取り組む)



令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

新潟県 阿賀野市

自治体名：新潟県阿賀野市

担当課名：学校教育課

電話番号：0250-62-2790

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	192.7 km ²
人口	39,134 人
公立中学校数	4 校
公立中学校生徒数	965 人
部活動数	31部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	推進計画（方針）：策定済 ガイドライン：国準拠

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

市の人口減少とともに、中学校等の生徒数も減少傾向にあり、令和6年度の965人に対し令和13年度には800人程度まで減少する見込みである。令和6年度の部活動は、運動部が12種目（31部）、文化部が4種目（9部）あり、部活動加入率は約78%であるが、運動部の団体競技では、部員不足のため単独で団体戦チームを編成することができない状況となっておりつつある。

令和4年度に方針案の策定や推進検討会議を開催し、運動系の市内地域クラブ（休日）を令和5年度は3団体、令和6年度は4団体立上げた。令和7年度に向けて、運動系の市内地域クラブ3種目3団体が新たに発足を予

定しており、運動部31部に対し、市内地域クラブ（休日）は9種目10団体となる見込みである。

また、当実証事業により地域コーディネーターを任用し、学校・地域クラブ・各種団体や協議会との連携を深め、活動状況等を把握して市（運営主体）が全体を統括してきたが、平日の移行などをさらに推進するため、運営主体を総合型クラブなどと連携して実施する必要がある。

今後は、適正な地域クラブ数や受益者負担の在り方、部活動と地域クラブの調整、平日部活動の地域移行などの課題を解決していく必要がある。



基礎情報

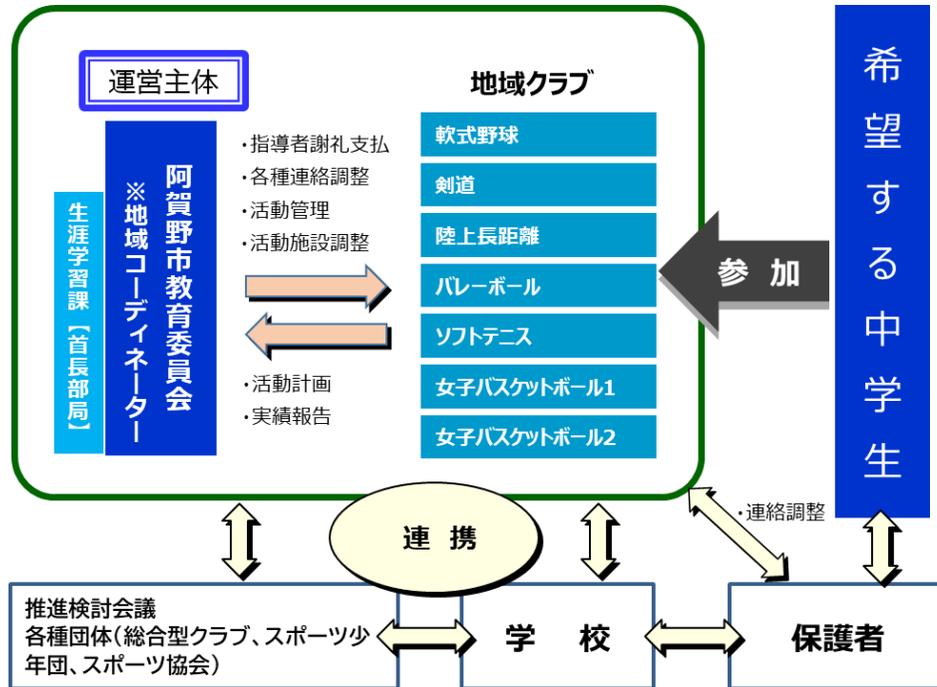
【人口】 H16 48,803人
H30 42,644人 △6,159
R6 39,134人 △9,669
※住民基本台帳人口（5.1現在）

【部活動加入者数】
運動部 535人
文化部 217人
→ 合計 752人 (77.9%)

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・推進検討会議の運営、体制づくり推進、地域クラブ設置、地域クラブ指導者謝礼支払
- ・部活動地域コーディネーターの配置、学校や各団体との連絡調整

◎首長部局

- ・生涯学習課・・・協議会への参画、公立社会教育施設の調整、施設使用料免除
- ・企画財政課・・・予算措置

年間の事業スケジュール

令和6年1～2月	中体連へ地域クラブ申請
令和6年3月	在校生の地域クラブ参加状況調査実施
令和6年4月	新入生の地域クラブ参加状況調査実施
令和6年5月	中体連大会参加選手登録
令和6年6～8月	地域クラブ設置のための各種説明会（スポ少など）
令和6年9～10月	次年度新設地域クラブ各種手続き、認定
令和6年11月	地域クラブ参加者アンケート実施
令和6年12月	4中学校長打ち合わせ会 地域クラブ指導者打ち合わせ会
令和7年1月	新設地域クラブ中学校関係者説明会
令和7年1～2月	新入生・保護者への説明 在校生・保護者へのチラシ配布 市広報による周知
令和7年2月	部活動地域移行推進検討会議開催
令和7年3月	地域クラブ参加状況調査実施 地域クラブ体験会実施

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	4校	実施した地域クラブ総数	7クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		7クラブ（18部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	36人	全体の運営スタッフ数	36人（すべて指導者）

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
阿賀野BBC	地域団体	軟式野球	月 12 回 / 週 3 回	平日：19:00～21:00 休日：9:00～12:00	市内中学生	4月1日～3月31日	笹神中学校グラウンド / 立川記念館 / 城ノ内野球場	5人	5人（すべて指導者） （内、兼務0人）	月会費 2,500 円 / 入会時5,000 円	中体連：部活動もしくは地域クラブ その他：地域クラブ
阿賀野市剣道連盟	地域団体	剣道	月 4 回 / 週 1 回（など）	9:00～12:00	市内中学生	4月1日～3月31日	水原総合体育館剣道場	4人	4人（すべて指導者） （内、兼務0人）	年会費 15,000円	中体連：部活動もしくは地域クラブ その他：地域クラブ
あがのランニングクラブ	地域団体	陸上長距離	月 3 回 / 週 1 回（など）	8:30～10:30	市内中学生	4月1日～3月31日	水原中学校周回ランニングコース / 五十公野公園陸上競技場	7人	7人（すべて指導者） （内、兼務0人）	保険料800円 / ほか大会参加費等	中体連：部活動もしくは地域クラブ その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
笹神バレーボールクラブ	地域団体	バレーボール（女子）	月 4回／週 1 回	18:30～20:30	市内中学生	4月1日～3月31日	笹神中学校体育館	4人	4人（すべて指導者） （内、兼務0人）	年会費 5,000 円	中体連：部活動もしくは地域クラブ その他：地域クラブ
阿賀野ジュニアソフトテニスクラブ	地域団体	ソフトテニス	月 3回／週 1回	9:00～12:00	市内中学生	4月1日～3月31日	笹神屋内運動場	4人	4人（すべて指導者） （内、兼務0人）	年会費 5,000円／ 保険料800円／ 連盟登録料1,000円	中体連：部活動もしくは地域クラブ その他：地域クラブ
阿賀野バスケットボールクラブ	地域団体	バスケットボール（女子）	月 16回／週 4回	平日：19:00～21:00 休日：9:00～12:00	市内中学生	4月1日～3月31日	安田体育館／安田中学校体育館	7人	7人（すべて指導者） （内、兼務0人）	月会費 2,000円／ 保険料800円	中体連：部活動もしくは地域クラブ その他：地域クラブ
京ヶ瀬バスケットボールクラブ	地域団体	バスケットボール（女子）	月 3回／週 1回	19:00～21:00	市内中学生	4月1日～3月31日	京ヶ瀬小学校体育館	5人	5人（すべて指導者） （内、兼務0人）	年会費 5,000円	中体連：部活動もしくは地域クラブ その他：地域クラブ

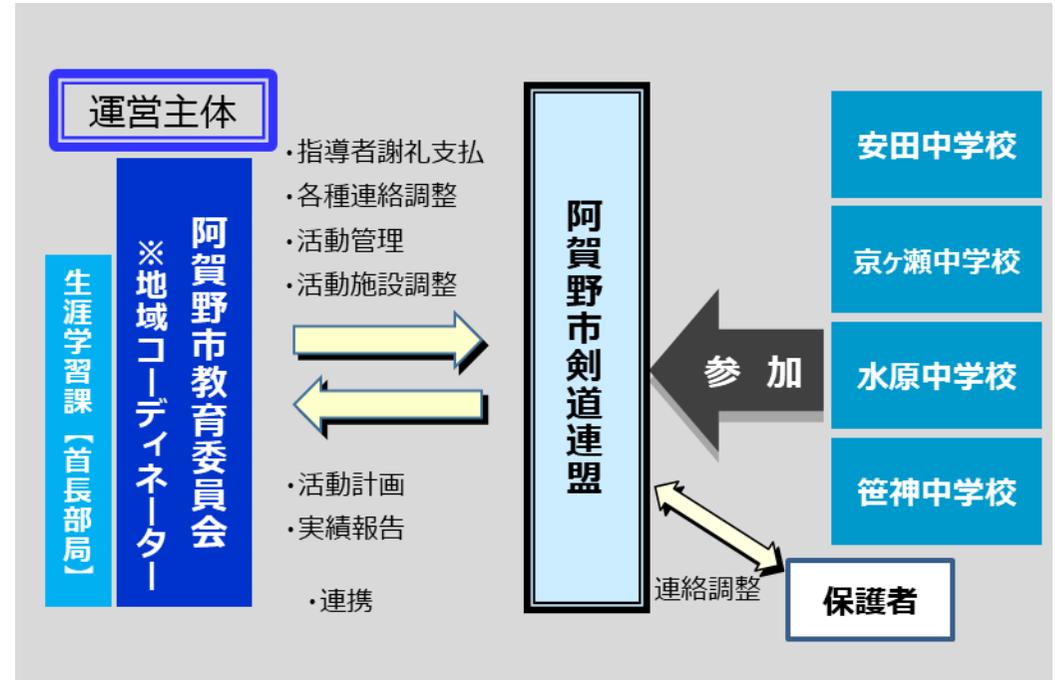
2.実証内容と成果

主な取組例

●阿賀野市剣道連盟 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	剣道
運営主体	阿賀野市教育委員会
期間と日数	4月1日～3月31日 月4回程度
指導者の主な属性	競技連盟指導者
活動場所	水原総合体育館 剣道場
主な移動手段	保護者の送迎、自転車
1人あたりの参加会費等(年額)	15,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者(事務局)

役割：活動における管理者として、市(運営主体)、学校、保護者との連携を行う

●指導者 4名

役割：活動において、生徒の指導を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○部活動地域コーディネーターを1名配置し、地域クラブの指導・実績管理、学校・指導者・競技団体・スポーツ団体間の調整など連携体制の構築に努め、地域クラブ事業を推進した。

○学校や地域スポーツ団体等と情報を共有し、地域クラブ（実施主体）を増やし整備した。

○運営主体の移行を総合型クラブと共に課題検討を進めた。

取組の成果

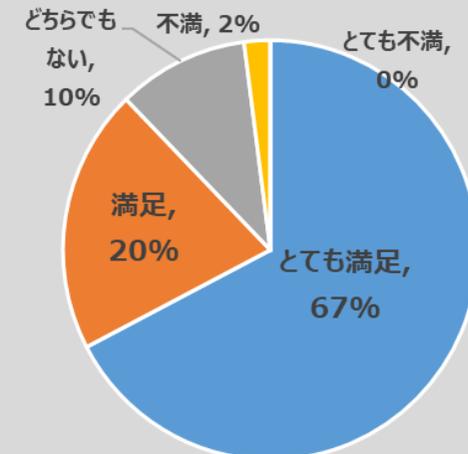
○今年度より新たにスポーツ団体や体育施設に詳しい部活動地域コーディネーターを配置したことで、各地域クラブ指導者との連絡調整を円滑に行うことが可能となり、新たに設置した4団体を含めた7団体の活動を推進した。その結果、参加した99人の中学生を対象としたアンケートでは、回答者の87%が地域クラブの活動内容に満足していると回答している。

○新しい地域クラブ立ち上げのため、各種目のスポーツ少年団と連携を図り、次年度の地域クラブ（3種目3団体）発足につなげることができた。

○年度当初から、地域クラブの運営主体について阿賀野市総合型クラブと協議を行い、次年度から市と総合型クラブが連携して運営主体を行うこととなった。

地域クラブ参加者アンケート

Q.あなたは地域クラブ活動内容に満足していますか？



R6.11実施 (N=99、n=49)

コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・毎月提出される実績報告を確認し、指導・助言を実施した。
- ・柔道、バドミントン、卓球のスポーツ少年団の指導者に対し、地域クラブ発足説明会の開催（各種目ごと）や複数回の詳細説明を実施し、新たに3つの地域クラブを立ち上げた。
- ・学校、地域クラブとの連絡調整を実施した。

今後の課題と対応方針

- まだ地域移行していない種目（男子バスケットボール、陸上競技）の地域クラブ発足を進めるとともに、10団体に増加した地域クラブの管理を適切に行う必要があると考える。
- スポーツ少年団などと連携して指導者を発掘し、新たに運営主体となる総合型クラブと連携し地域クラブ活動の管理を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

○地域クラブ指導者の選定には、ガイドラインに沿った条件項目を設け審査を行った。
 ○各団体からの資質向上の協力体制を検討し、資質向上研修など情報の提供を行った。

取組の成果

○指導者には適格性の要件に該当するものを選定し、特に代表者については中学校長との面談後校長推薦により登録を実施した。その結果、参加生徒を対象としたアンケートでは、回答者の92%が地域クラブの指導に満足していると回答している。
 ○県から連絡のあった研修会などを地域クラブ指導者へ情報提供した。打ち合わせを通じ、総合型クラブによる資質向上研修の実施が可能だということが分かった。

【適格性の要件】

(下記のいずれかに該当する者)

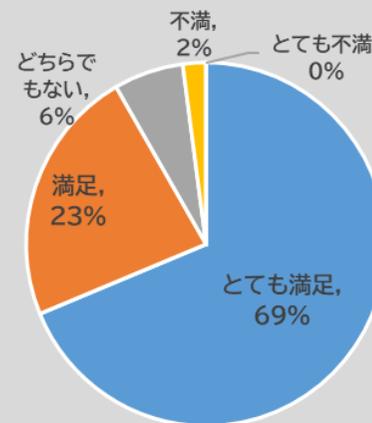
- (1) 教育職員免許法（昭和24年法律第147号）第4条第1項に規定する普通免許状、特別免許状又は臨時免許状を有する者
- (2) 公益財団法人日本スポーツ協会が定める加盟団体規程第2条第1号に規定する加盟競技団体が認定した指導者資格を有する者
- (3) 中学校若しくは高等学校の部活動又は地域でのスポーツ、文化又は科学等に関する活動において指導した経験を有する者
- (4) 部活動指導に関し、第1号から第3号までのいずれかと同等程度の技術又は経験を有すると認められる者

今後の課題と対応方針

- 地域クラブの増加と共に指導者が増え、様々なリスク管理のためにも、質の保障及び向上のための研修を実施する必要がある。
- 次年度から運営主体として連携する総合型クラブは、研修のノウハウがあることから、地域クラブ指導者の資質向上研修を委託する。

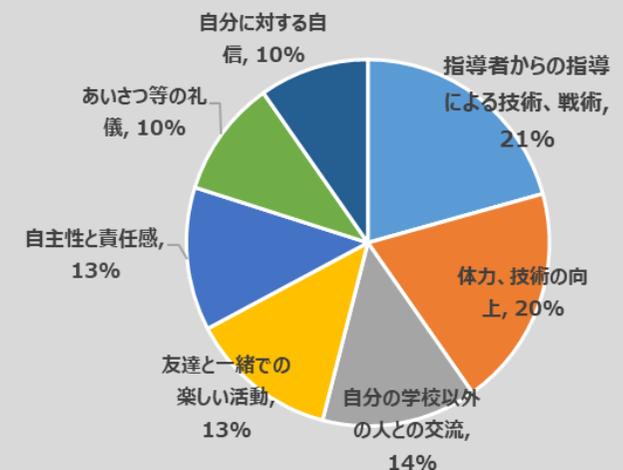
地域クラブ参加者アンケート

Q.地域クラブの指導に満足していますか？



R6.11実施 (N=99、n=49)

Q.地域クラブ活動を通じて何を学びましたか？



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

○学校、指導者、スポーツ団体、総合型地域クラブ等との連携、協力体制を確立・推進した。

○総合型クラブが新たな運営主体となるよう、体制を整えた。

取組の成果

○中学校長との複数回の打ち合わせや部活動主任との打ち合わせを実施し、生徒及び保護者への周知内容を確認し合うとともに、チラシの配布や新入生入学説明会での説明機会を獲得することができた。また、新年度の地域クラブ参加促進のための体験会実施についても、意見をいただき実施することとなった。

○阿賀野市総合型クラブと打ち合わせや情報共有を実施し、次年度から市と連携した運営主体として参加してもらうことになった。謝礼の支払いや保険加入業務、指導者研修、コーディネート業務補佐を委託することとしている。

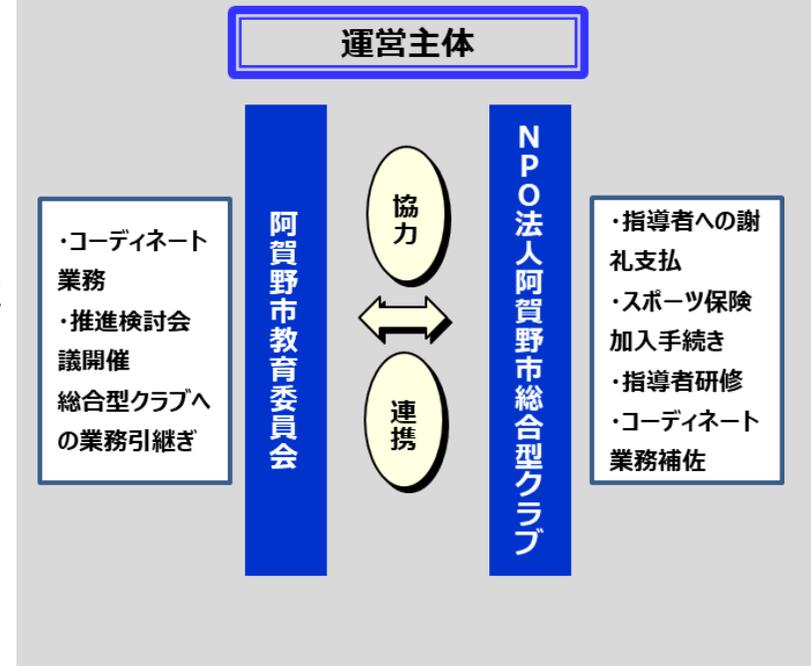
○移行検討推進会議を開催し、スポーツ推進員及びスポーツ協会などと次年度以降の方針等について協議を行った。

○参加者の保護者を対象としたアンケートを実施し、約半数の保護者が活動場所への送迎対応を負担に感じていることが分かった。

今後の課題と対応方針

- 令和8年度夏の休日部活動の完全移行及び平日以降の推進に向けて、総合型クラブ、学校、地域クラブ、関係団体との連携を強化する。
- 新たな運営主体「阿賀野市総合型クラブ」との協力・連携体制を確立する。

【次年度の体制】 総合型クラブとの協力・連携体制



2.実証内容と成果

- ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
- イ：指導者の質の保障・量の確保
- ウ：関係団体・分野との連携強化
- エ：面的・広域的な取組

- オ：内容の充実
- カ：参加費用負担の支援等
- キ：学校施設の活用等
- ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実

取組事項

○生徒が市内どの学校からでも地域クラブに参加できるよう、また、部活動と同じ種目を選ばなくても、興味のあるものを選ぶよう環境整備を行った。

今後の課題と対応方針

- すでに地域クラブが発足している種目で部員数が多い種目については団体数を増やす必要がある。また、部活動の種目以外の地域クラブの発足についても検討する必要がある。
- 次年度から運営主体として参加する総合型クラブによる活動も検討する。

取組の成果

- 令和6年度当初に、地域クラブは6種目7団体であったが、次年度には3種目3団体が発足する見込みとなり、生徒の地域クラブの選択肢を増やすことができた。
- 新入生入学説明会や在校生に配布したチラシ及び広報において、部活動と同じ種目を選ばなくてもいいことを周知した。
- 3～4月に各地域クラブの体験会実施を予定しており、部活動以外の種目についても参加しやすい環境を整えることができた。

広報あがの2月号に掲載した内容の一部

地域クラブに関する Q&A

- Q. 申し込みはいつ、どうすればいいですか。
A. 中学生全員に「参加確認書」を提出してもらいます。新2・3年生には3月初旬、新1年生には入学後配布し意向を確認します。
- Q. 申し込みはいつ、どうすればいいですか。
A. 中学校の校長先生の推薦を受け、市で認められた人が地域クラブの代表者になっています。部活動と地域クラブの両方で指導している先生もいます。
- Q. 参加費等費用負担はありますか？
A. 学校、スポーツ少年団と別にスポーツ保険の加入が必要です。個人で使用のもの、競技に使用する消耗品等必要経費の負担が伴います。
- Q. どんな活動なのか見るとはできませんか？
A. 4月に体験会を実施する予定です。希望があれば各クラブの指導者にいつでもお繋ぎしますので、下記問い合わせ先に電話してください。
- Q. 学校の部活動と違う地域クラブに参加はできますか？
A. 部活動の種目にかかわらずどの地域クラブにも参加できます。

生徒配布チラシ

令和7年度版 阿賀野市教育委員会 (R7.1)
阿賀野市立中学校における休日の部活動の地域展開について (令和7年度)

だれでもスポーツ・文化芸術活動に親しむことができるように

国は「将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実していく」ことを目的に、学校部活動の地域展開を推進しています。国や県の方針を踏まえ、阿賀野市では、休日の中学校部活動を地域展開する取組を進めています。

目的：競技力・技術力の向上、試合・大会の勝敗のみにこだわることなく、豊かな人間性の育成を目指して、地域クラブの開設に取り組んでいます。

令和7年度以降は、以下のとおり休日の部活動を地域クラブに展開します。

方針

- 土曜日、日曜日などの休日に地域指導者が指導する「地域クラブ」を開設します。
令和5年度は、陸上長距離、剣道、軟式野球、令和6年度は、女子バレーボール、ソフトテニス、女子バスケットボールの地域クラブを開設しました。
令和7年度は、新たに3種目【柔道、卓球、バドミントン】の地域クラブの開設を予定しています。
- 休日の部活動の活動は、以下のとおりです。
【令和8年度まで(令和6年度1年生が3年生となり引退するまで)】
活動可能です。
【令和8年度以降(令和6年度1年生が3年生となり引退以降)】
原則、活動できません。
ただし、休日に実施される中体連大会・吹奏楽連盟コンクールに参加する場合のみ可能とします(練習試合や合同練習会・講習会などは不可)。
- 中体連大会へは、部活動か地域クラブ等かどちらか一つを個人で選択して出場します。
※ただし、卓球は令和7年度地域クラブでの出場はできません。

参加方法

- 自分の目的にあった地域クラブを選択します。
- 部活動の種目にかかわらず、どの地域クラブにも参加できます。
- 部活動に加入せず、地域クラブのみへの参加も可能です。
- いずれの活動にも参加しないこともできます。
※現在、中学1年生、2年生の皆さん全員には、3月までに確認書を配布し、希望をとります。新1年生については、学校の部活動が決まった頃に希望をとります。

指導者

- 地域クラブの指導者は、規則に沿った人材を選定し、阿賀野市教育委員会が決定します。
- 2人体制で指導することを基本とし、希望する中学校教員から指導に加わってもらうこともあります。

その他

- 個人の保険料、個人で使用する物、消耗品等、種目によって必要経費の負担が伴います。
- 学校のグラウンドや体育館、市の施設が主な活動場所です。
- 年間30～40回程度の開設を予定しています。
- 阿賀野市の地域クラブには、阿賀野市内のどの中学校の生徒も申し込みます。
- 参加にかかわる行き帰りは、保護者の責任の下でお願いします。
- ※国から、中学生の健康維持のため、平日1日、土日のいずれか1日の休業日を設定し、週2日以上休業日をとれるよう指導されています。

今後の見通し

- 令和8年度から運動部の他の種目や文化部も地域へ展開できるように、地域クラブの設置を進めています。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

○消耗品や大会参加費など、地域クラブの活動にかかる経費については、種目によってかなり異なることから、各地域クラブにおいて必要な額を参加者から収集している。実際に、令和5年度に活動した地域クラブ3団体の収支を確認すると、種目によってかなり異なっていることを確認した。

○ほとんどの地域クラブにおいてかかる、中体連主催・共催大会に参加費用について、交通費及び宿泊費を全額補助し、指導者の謝礼（384,000円／1団体）も市が負担することで受益者負担の軽減を図った。

○今後の受益者負担のあり方を検討する資料として、地域クラブ参加生徒の保護者に、費用負担とその金額についてアンケートを実施した。

○経済的困窮世帯の会費減免方法について検討した。

地域クラブ活動に係る経費

地域クラブ活動に係る経費（一人あたり／年）【参加者負担分】

項目	A地域クラブ	B地域クラブ	C地域クラブ
スポーツ保険料	800円	800円	800円
大会参加費・登録料	2,900円	10,000円	
用具購入費	12,000円		
消耗品費	6,500円		
遠征費	1,800円		
合計	24,000円	10,800円	800円

※このほか、各クラブとも指導者謝礼384,000円、中体連大会参加費用あり（市負担）。
 ※令和5年度地域クラブ決算より

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算 及び 収支バランス

○令和5年度の地域クラブ3団体の実績では、各種目ごとの違いが大きすぎて、持続的な運営に必要な受益者負担の試算や収支バランスを検討することができなかった。

○中体連主催・共催大会に参加する際に必要となる一人あたりの経費は、表のとおりであり、これらを補助することは受益者負担の大きな軽減につながることを確認した。

中体連主催・共催大会参加にかかる経費（一人あたり）

項目	下越大会（佐渡市）	県大会（上越市）
交通費	9,519円	18,257円
宿泊費	9,130円	21,871円
合計	18,649円	40,128円

※令和6年度補助実績

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

○令和5年度は地域クラブが初めて活動開始した年度であったこともあり、地域クラブ3団体のみの実績では各種目ごとの違いが大きすぎて、持続的な運営に必要な受益者負担の試算等を行うことができなかった。

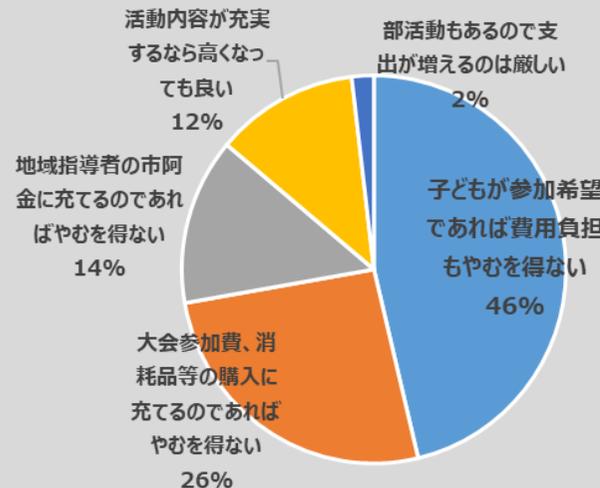
○中体連主催・共催大会へ参加する際の交通費等費用について、県大会でも開催場所によっては、一人あたり40,000円と高額であったことから、これに対する補助は受益者負担の大きな軽減につながることを確認できた。また、指導者についても、ほぼ同額の負担があることも分かった。

○経済的困窮世帯の会費減免方法について検討したが、地域クラブ指導者に分からない方法（個人情報保護）での減免は現状では難しいことが分かった。

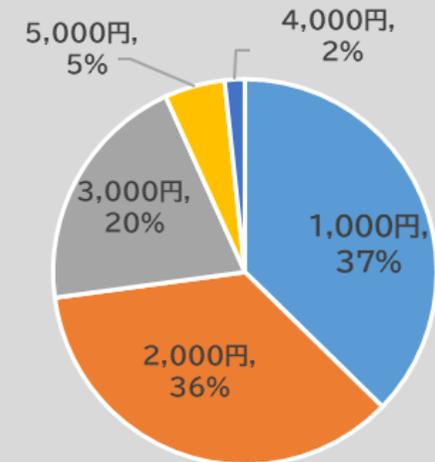
○地域クラブ参加生徒の保護者を対象に実施した、費用負担とその金額についてのアンケート結果によると、保護者の98%は費用負担をやむを得ないと考えている一方で、週1回の活動の場合の参加費は、月1,000円が適当だと考えている保護者が一番多い（37%）であることが分かった。

地域クラブ参加生徒の保護者アンケート

Q.地域クラブに参加する際の費用負担について、どう考えていますか？



Q.週1回（月4回）の活動で、費用負担はいくらまで可能ですか（1月あたり）？



R6.11実施（N=99、n=63）

今後の課題と対応方針

○令和6年度の地域クラブ7団体の実績により経費等を分析し、地域クラブ会費（受益者負担）のあり方について検討するとともに、移行推進検討会議においても検討を行う。

○中体連主催・共催大会に参加する際に必要となる交通費及び宿泊費について、指導者負担分も補助し、地域クラブ活動全体の負担を軽減する。

○引き続き経済的困窮世帯の会費減免方法について、検討を行う必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

- 市地域クラブには、学校の体育館・グラウンドを市民利用がない場合に優先的に割り振れるようにした。
- 施設使用料は今年度も引き続き全額免除とした。

取組の成果

- すべての地域クラブ（6種目7団体）において、学校や市の施設を活動場所として割り振ることができた。
- 施設使用料について、市内の全施設において、部活動に準じ全額免除とし、受益者負担の軽減を図った。
- 次年度からの地域クラブ新設に伴い、活動場所の不足を補うため、中学校長と協議し、これまで利用不可であった土日の昼間の利用について、学校と調整しながら利用することを可能とした。

市内地域クラブの活動場所（施設種類）

地域クラブ名	種目	活動場所	施設種類		
			学校	市施設	他市施設
阿賀野BBC	軟式野球	笹神中学校グラウンド	○		
		立川記念館／城ノ内野球場		○	
阿賀野市剣道連盟	剣道	水原総合体育館剣道場		○	
あがのランニングクラブ	陸上長距離	水原中学校周回ランニングコース	○		
		五十公野公園陸上競技場		○	○
笹神バレーボールクラブ	バレーボール（女子）	笹神中学校体育館	○		
阿賀野ジュニアソフトテニスクラブ	ソフトテニス	笹神屋内運動場		○	
阿賀野バスケットボールクラブ	バスケットボール（女子）	安田体育館		○	
		安田中学校体育館	○		
京ヶ瀬バスケットボールクラブ	バスケットボール（女子）	京ヶ瀬小学校体育館	○		
施設数			5	5	1

今後の課題と対応方針

- どの団体であっても、原則、市屋内施設では土日昼間の1日練習試合ができないきまりがある。このため、学校部活動は学校体育館で練習試合ができるが、地域クラブは練習試合を実施する場所がない。回数を限定して市施設で練習試合ができるような取り組みの検討を行う。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

○今年度は、令和8年度夏の休日部活動の完全移行に向けて、地域クラブ新設を中心に業務を推進してきた。

○スポーツ団体や体育施設に詳しい部活動地域コーディネーターを新たに配置したことで、地域クラブや学校、スポーツ少年団との連携を強化することができた。その結果、地域クラブ活動に係る指導、助言を強化することが可能となり、指導者および活動について一定の質・量を確保することができた。また、当初から目標としていた、柔道、バドミントン、卓球の3種目について、それぞれ1団体の地域クラブを次年度から発足する見込みとなった。

○部活動地域移行を開始した令和4年度から課題となっていた運営主体の移行について、総合型クラブと協議を重ね、次年度から市教育委員会と協力体制で連携しながら運営主体を行うこととなった。これは、今後地域移行を推進するうえで、大きな転機であると考え。平日の部活動の移行推進や、多様な地域クラブ活動の実現可能性が大きく広がった。

●成果の評価

○今年度、3種目3団体の地域クラブ新設と新たな運営主体の設置に向け活動し実現できたことは、令和8年度夏の休日部活動の完全移行はもちろんのこと、その後の地域クラブ活動に向けて大きな前進となった。

○地域クラブに参加した中学生を対象に行ったアンケートにおいて、回答者の9割前後が地域クラブの活動内容及び指導に満足していると回答したことから、地域クラブ活動と指導者の質が一定程度維持されていることが確認できたとともに、地域クラブ指導者との連携強化を推進する必要があることを再認識した。

○費用負担の面においては、中体連主催・共済大会に参加する際の交通費及び宿泊費の全額補助を引き続き実施し、受益者負担の軽減を図ったほか、新年度に向けて新たに引率指導者の交通費及び宿泊費についても補助制度の整備及び予算措置を実施し、指導者の負担軽減も図る予定としている。

●今後に向けて

○休日部活動の完全移行及び平日の移行推進に向け、運営主体として、阿賀野市総合型クラブとの連携・協力体制を令和7年度中に確立する。また、地域クラブが設置されていない競技、男子バスケットボールと陸上競技の地域クラブを確実に新設する。

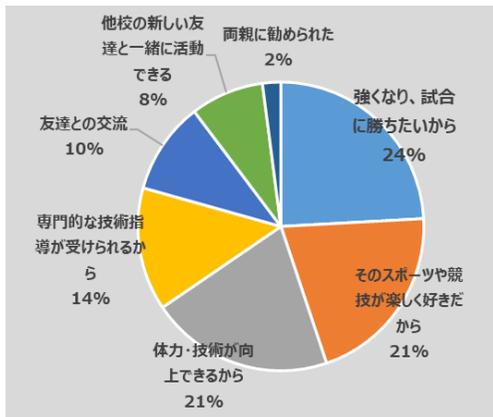
○地域クラブ会費（受益者負担）のあり方について、令和6年度推進検討会議等で協議を行い、経済的困窮世帯に対する支援スキームを検討する。

アンケート結果・参加者の声

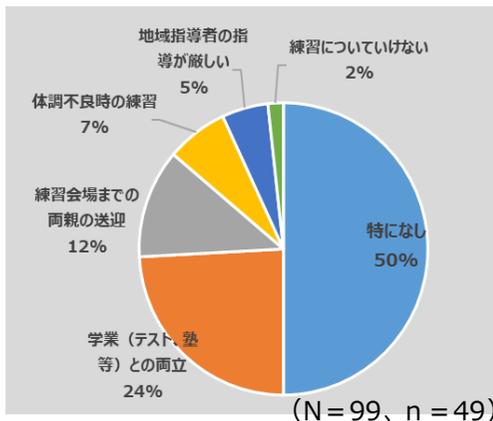
● アンケート結果

地域クラブ参加生徒

Q.地域クラブに加入した理由は何ですか？

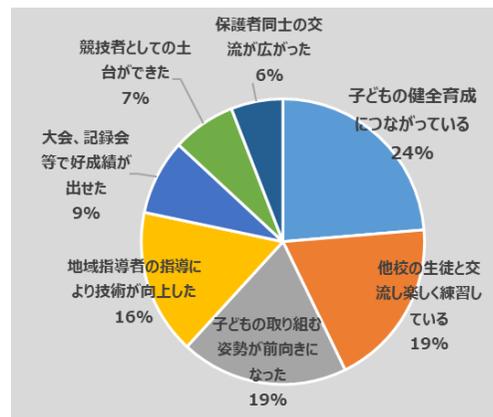


Q.地域クラブの活動で苦労していることは何ですか？

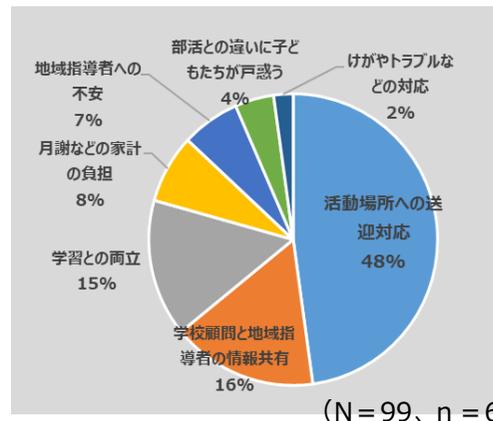


地域クラブ参加生徒の保護者

Q.子どもを地域クラブに参加させてよかったことは何ですか？



Q.地域クラブ参加により課題や負担に感じることはありますか？



● 参加者の声

中学2年生

部活と違い、3年間、同じ人から専門的な指導を受けられるのが地域クラブの良いところだと思います。

中学2年生

部活は人数が少ないけど、地域クラブは他の中学の子もいて人数が多く、いろいろな練習ができます。

中学2年生

専門的な知識を持っている指導者に教わりながら、いろいろな学校から来た子たちと学年関係なく頑張っています。部活は人数が少ないけど、地域クラブは他の中学の子もいて人数が多く、いろいろな練習ができます。

指導者

バスケを通じたさまざまな活動を通して、子どもたちを自立した大人に成長させたいという思いで指導しています。

指導者

部活が地域展開する流れの中で、今までの経験を生かしてお手伝いできればと思い参加しました。子どもたちが「もっとソフトテニスを好きになるように」と心がけて指導をしています。

アンケート結果・広報資料

今年度から始動した **地域クラブ** を紹介します！

笹神バレーボールクラブ



笹神中 2年

厳しい練習もあるけど、楽しい練習もあります。クリスマス会やバーベキューなどもありとても楽しいです。先輩後輩関係なく仲がいいチームです！

今まで小学生を対象に指導してきましたが、教え子たちにバレーボールを継続してもらいたいという思いから地域クラブを始めました。初心者でも気軽に一度見学に来てください！



監督

京ヶ瀬バスケットボールクラブ



京ヶ瀬中 2年

部活は人数が少ないけど、ここは他の中学の子もいて人数が多く、いろいろな練習ができます。みんな仲良く楽しくて笑顔が絶えないチームです。

バスケット好きな地元の子もたちに、バスケットができる環境を作ってあげたいという思いでコーチをしています。初めてでもぜひ気軽に体験に来てください。



コーチ

阿賀野バスケットボールクラブ



安田中 2年

専門的な知識を持っている指導者に教わりながら、いろいろな学校から来た子たちと学年関係なくバスケットを頑張っています。いつでも体験に来てください！

バスケットを通じたさまざまな活動を通して、子どもたちを自立した大人に成長させたいという思いで指導しています。専門的な知識をもった指導者がたくさんいます。



コーチ

阿賀野ジュニアソフトテニスクラブ



笹神中 2年

部活と違い、3年間、同じ人から専門的な指導を受けられるのが地域クラブの良いところだと思います。土日も活動できて、たくさん練習を行えます。ぜひ一緒にテニスをしましょう！

部活が地域展開する流れの中で、これまでの経験を生かしてお手伝いできればと思い参加しました。子どもたちが「もっとソフトテニスを好きになるように」と心がけて指導をしています。



監督

将来にわたり生徒が

スポーツ・文化芸術活動 に親しむ機会の確保を！

部活動の 地域展開



中学校の教育の一環として取り組まれてきたスポーツ・文化芸術活動の部活動が変わり始めています。市では、休日において7つの地域クラブが既に活動しており、令和7年度からは3つのクラブが新たに発足し、計9種目10クラブの地域クラブが展開されます。

地域クラブへの移行スケジュール

		令和7年度	令和8年度	令和9年度
休日の活動	部活動	R8中体連全中大会終了まで実施	休日の部活動は原則行わない	
	地域クラブ活動	可能なクラブから徐々に実施	部活動から地域クラブへ展開	
平日の活動	部活動		部活動は当面継続予定	
	地域クラブ活動		可能なクラブから徐々に実施	
大会出場	部活動		部活動としての中体連の大会参加は継続予定	
	地域クラブ活動		中体連の大会は、部活動か地域クラブのいずれかの登録で出場となります。年度当初にどちらで出るかを選びます。	認定されたクラブは中体連の大会に参加可能 ※ただし、卓球は令和7年度は地域クラブでの参加はできません。

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



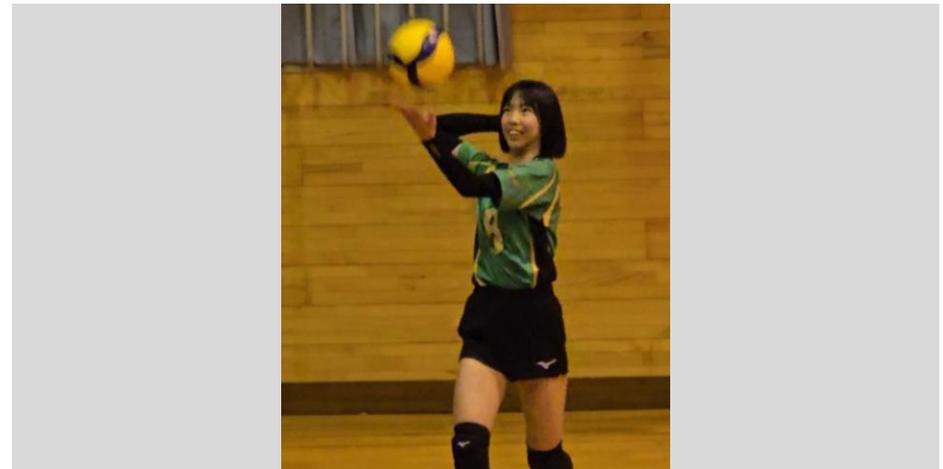
【京ヶ瀬バスケットボールクラブ 小学校体育館での練習の様子】



【阿賀野市ジュニアソフトテニスクラブ 市屋内運動場での練習の様子】



【阿賀野バスケットボールクラブ 市体育館での練習の様子】



【笹神バレーボールクラブ 中学校体育館での練習の様子】

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



ステークホルダー

学校、スポーツ協会、スポーツ推進協議会
市長部局、市教育委員会、コーディネーター、地域クラブ指導者

経過

令和4年に教員アンケート及び情報共有会議を実施し、地域移行の検討を開始した。同じく令和4年に移行推進検討会議を設置し、教員アンケートの結果を受けて移行の方向性について協議を行い、市教育委員会を運営主体とし、令和8年から休日部活動の完全移行地域移行を実現するための方針（推進計画）を策定した。。令和6年度には運営主体の移行について検討を行った。

実施内容

令和5年4月から市内4中学校全生徒が参加できる、3種目3団体の地域クラブを発足した。令和6年4月には3種目4団体が、令和7年4月には3種目3団体が新たに加わり、9種目10団体の地域クラブが活動できるよう拡大を進めた。また、令和6年度に阿賀野市総合型クラブと運営主体の移行について協議を行い、令和7年度から市教委と総合型クラブが連携して運営主体となる予定としている。

実施にあたって生じた課題

休日部活動の地域移行について、学校部活動顧問との合意形成に苦慮した。特に完全移行の時期について、令和8年4月から実施すると、中体連大会への参加に影響するとの指摘があり、令和8年夏（3年生引退後）の完全移行を目指すこととなった。

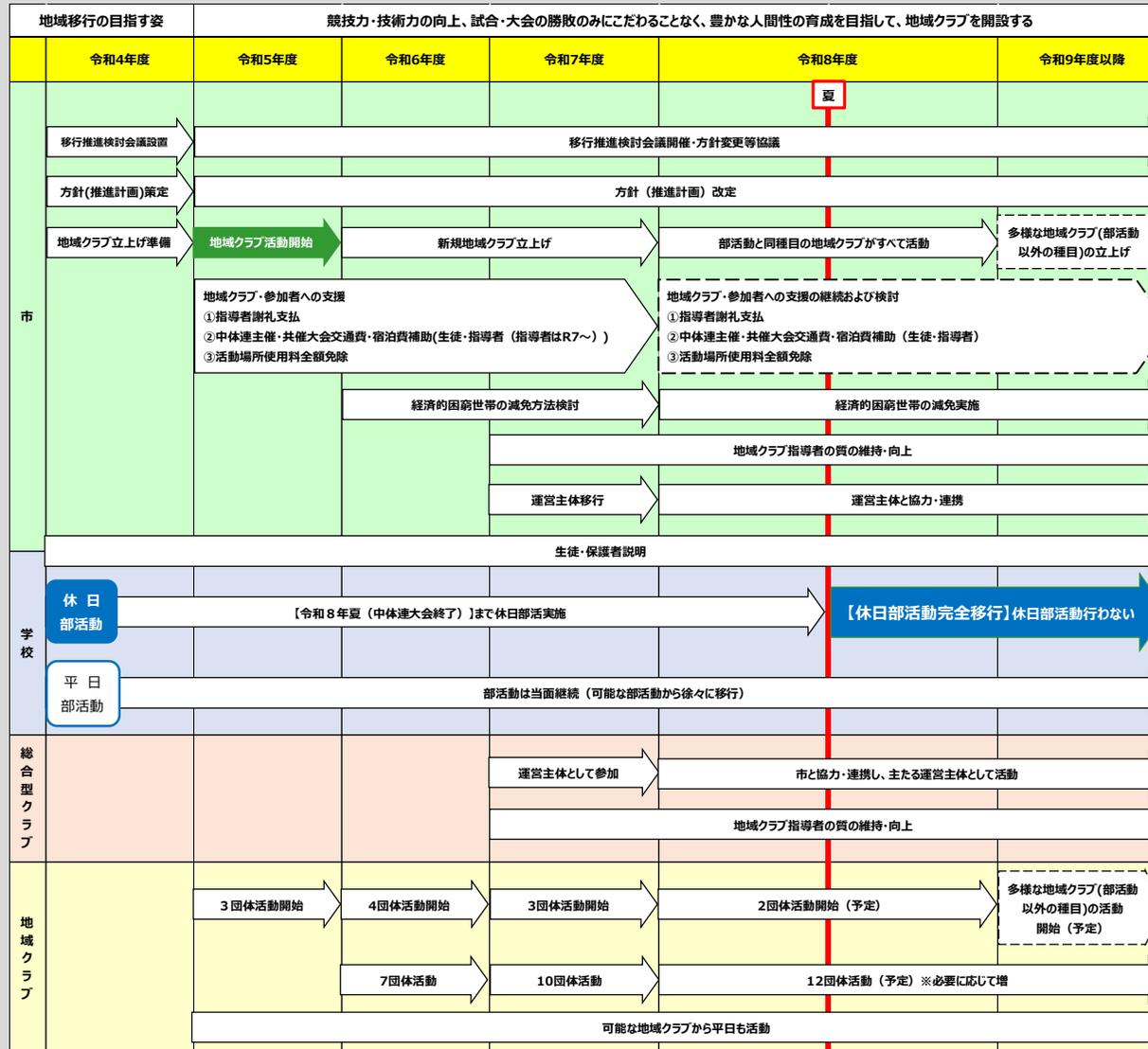
また、令和7年度は移行期間であるため、10団体に増えた地域クラブと部活動が共存して活動することになり、屋内スポーツの活動場所に苦慮した。今後も地域クラブを増やす予定であり、完全移行までの間の活動場所の確保について、施設担当部署及び学校との調整を検討している。

今後の展開

令和7年4月から、市教委と総合型クラブが連携して運営主体となり、地域移行推進体制を強化する。令和8年夏からの休日部活動の完全移行を進めるとともに、指導者の質の向上、多様な地域クラブの実現、平日部活動のの地域移行を目指す。また、地域クラブ会費（受益者負担）のあり方について協議を行い、経済的困窮世帯に対する支援スキームを検討する。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ



令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

新潟県 佐渡市

自治体名：新潟県佐渡市

担当課名：社会教育課

電話番号：0259-58-7356

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	855 km ²
人口	48,757 人
公立中学校数	13 校
公立中学校生徒数	1,045 人
部活動数	44 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

佐渡市では、生徒数の減少やそれに伴う教員数の減少、取り組める部活動の選択肢が限られるといった現状があり、年々部活動を取り巻く環境は厳しくなっている。

- ・複式学級を有する小中連携校が4校あり、スポーツの部活動は個人出場可能な1~2種目に限られている。

- ・生徒数の減少に伴い、野球やバレーボールなどの団体種目では単独校での出場がかなわず複数校でチームを組むケースが見られる。

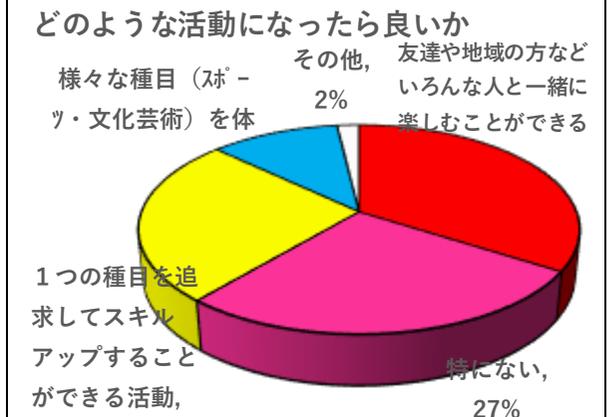
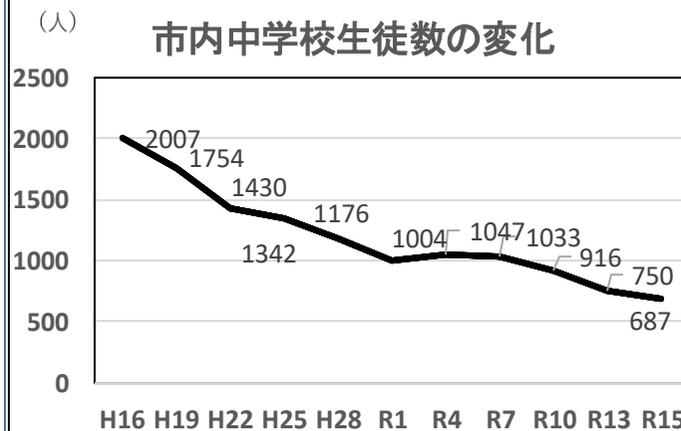
国や県の方針に沿って休日の部活動を地域に移行する取組を早急に進めることにした。部活動を地域へと移行するにあたり、学校と地域が協力

いかにして構築していくかが重要となる。

令和5年12月に「地域クラブ活動に関するアンケート調査」を実施し、生徒の希望調査をした。その結果、多様な人との交流を望む生徒が34%、スキルアップを望む生徒が26%と高くなっている。

多様な人との交流を可能にするためには単発で参加できる種目数を多くすることと参加者を多くする必要がある。また、スキルアップを達成するためには年間を通して同じ種目に取り組めることと、練習回数を多く設定する必要がある。

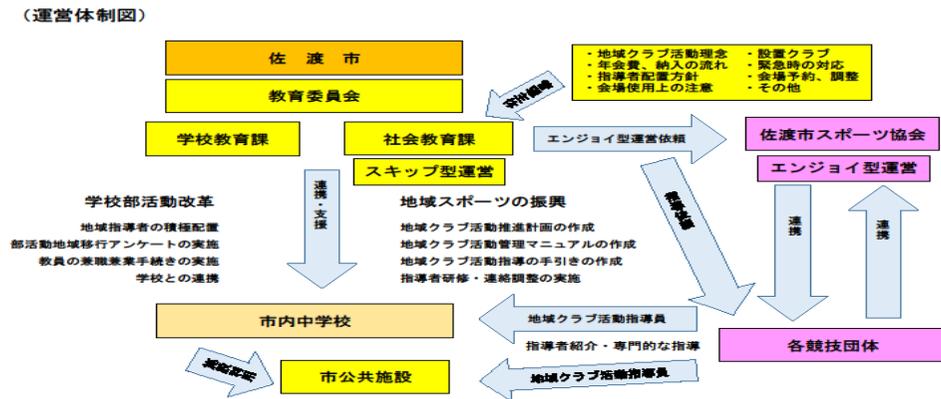
これらの生徒の要望を可能にすべく、年間の活動回数を増やすことと新たな種目を増やし昨年以上の参加生徒を目指すことにした。



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会（学校教育課）

- ・市内公立中学校、中等教育学校、特別支援学校との連絡調整を図り「地域クラブ活動」の参加募集を募る。
- ・佐渡市地域クラブ活動推進協議会の事務を担当し、開催案内と当日の進行を進める。

◎教育委員会（社会教育課）

- ・佐渡市スポーツ協会や各スポーツ団体と協議し、地域クラブ活動の具体的な活動の企画運営を担当する。
- ・スポーツコーディネーターを配置し、指導者との連絡調整、参加生徒との連絡、会場予約の実務を行う。

年間の事業スケジュール

令和6年4月	佐渡市地域クラブ活動募集開始
令和6年5月	指導者研修会
令和6年5月	第1回佐渡市地域クラブ活動推進協議会
令和6年5月	佐渡市地域クラブ活動開始
令和6年8月	スポーツ交際交流員SEA来日
令和6年9月	指導者技術研修会（バドミントン）
令和6年11月	指導者技術研修会（野球）
令和6年11月	中体連との意見交換会
令和6年12月	地域クラブ活動に関するアンケート調査
令和7年2月	第2回佐渡市地域クラブ活動推進協議会
令和7年3月	第3回佐渡市地域クラブ活動推進協議会

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	13 校	実施した地域クラブ総数	35 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		20 クラブ（44 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		15 クラブ
全体の指導者数	149 人	全体の運営スタッフ数	8 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
バスケットボールクラブ	バスケットボール協会	バスケットボール	月 2 回	9:00～12:00	中学1～3年生	5/25～3/15	中学校体育館	10 人	3 人 (内、兼務 2人)	年会費 2,000 円	中体連：部活動
バドミントンクラブ	バドミントン協会	バドミントン	月 2 回	9:00～12:00	中学1～3年生	5/25～3/15	中学校体育館	16 人	3 人 (内、兼務 2人)	年会費 2,000 円	中体連：部活動
ソフトテニスクラブ	ソフトテニス連盟	ソフトテニス	月 2 回	9:00～12:00	中学1～3年生	5/26～3/16	市営施設 中学校テニスコート	14 人	3 人 (内、兼務 2人)	年会費 2,000 円	中体連：部活動
野球クラブ	野球連盟	野球	月 2 回	9:00～12:00	中学1～3年生	5/25～3/16	市営施設 中学校グラウンド	24 人	3 人 (内、兼務 2人)	年会費 2,000 円	中体連：部活動
卓球クラブ	卓球連盟	卓球	月 2 回	9:00～12:00	中学1～3年生	5/25～3/15	中学校体育館	15 人	3 人 (内、兼務 2人)	年会費 2,000 円	中体連：部活動
バレーボールクラブ	バレーボール協会	バレーボール	月 2 回	9:00～12:00	中学1～3年生	5/26～3/16	小学校体育館	3 人	3 人 (内、兼務 2人)	年会費 2,000 円	中体連：部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 佐渡市地域クラブ活動小学生体験会 令和7年2月9日（日）実施

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
トレッキングクラブ	山岳会	トレッキング	年 3 回	9:00～12:00	中学1～3年生	5/26～10/20	ドンデン山	6人	3人 (内、兼務2人)	年会費 2,000円	参加なし
陸上クラブ	陸上競技協会	トラック競技	年 4 回	9:00～12:00	中学1～3年生	5/26～3/16	陸上競技場	5人	3人 (内、兼務2人)	年会費 2,000円	参加なし
ボルダリングクラブ(新)	地域	ボルダリング	年 2 回	9:00～12:00	中学1～3年生	6/2～6/30	クジラウォール	2人	3人 (内、兼務2人)	年会費 2,000円	参加なし
ゴルフクラブ(新)	ゴルフ連盟	ゴルフ	年 2 回	9:00～12:00	中学1～3年生	6/30～7/7	ときの郷ゴルフクラブ	2人	3人 (内、兼務2人)	年会費 2,000円	参加なし
マリンスポーツクラブ	サードフィールドさど	ヨット、カヌー、レガッタ	年 4 回	9:00～12:00	中学1～3年生	7/7～8/18	加茂湖	17人	3人 (内、兼務2人)	年会費 2,000円	参加なし
体操クラブ(新)	地域	マット運動	年 2 回	9:00～12:00	中学1～3年生	7/21～7/30	ヒルトップアリーナ	1人	3人 (内、兼務2人)	年会費 2,000円	参加なし
空手クラブ	空手道連盟	空手	年 3 回	9:00～12:00	中学1～3年生	8/18～9/27	ヒルトップアリーナ	5人	3人 (内、兼務2人)	年会費 2,000円	参加なし
硬式テニスクラブ(新)	テニス協会	硬式テニス	年 2 回	9:00～12:00	中学1～3年生	9/15～9/22	スポーツハウス	2人	3人 (内、兼務2人)	年会費 2,000円	参加なし
自転車クラブ	ゴールデンアイビス	自転車	年 3 回	9:00～12:00	中学1～3年生	5/26～3/16	小学校体育館	3人	3人 (内、兼務2人)	年会費 2,000円	参加なし

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
水泳クラブ	水泳連盟	水泳	年 3 回	9:00～12:00	中学1～3年生	11/17～12/15	スポーツハウス	1人	3人 (内、兼務2人)	年会費 2,000円	参加なし
サッカークラブ	サッカー協会	サッカー	年 4 回	9:00～12:00	中学1～3年生	11/3～12/15	陸上競技場	6人	3人 (内、兼務2人)	年会費 2,000円	参加なし
スキークラブ	スキー協会	スキー	年 4 回	9:00～12:00	中学1～3年生	1/12～2/16	平スキー場	6人	3人 (内、兼務2人)	年会費 2,000円	参加なし
ダンスクラブ	地域	ダンス	年 4 回	9:00～12:00	中学1～3年生	1/12～2/16	スタジオパル	2人	3人 (内、兼務2人)	年会費 2,000円	参加なし
柔道クラブ (新)	柔道連盟	柔道	年 2 回	9:00～12:00	中学1～3年生	3/2～3/16	ヒルトップアリーナ	2人	3人 (内、兼務2人)	年会費 2,000円	参加なし
剣道クラブ (新)	剣道連盟	剣道	年 2 回	9:00～12:00	中学1～3年生	3/2～3/16	ヒルトップアリーナ	2人	3人 (内、兼務2人)	年会費 2,000円	参加なし

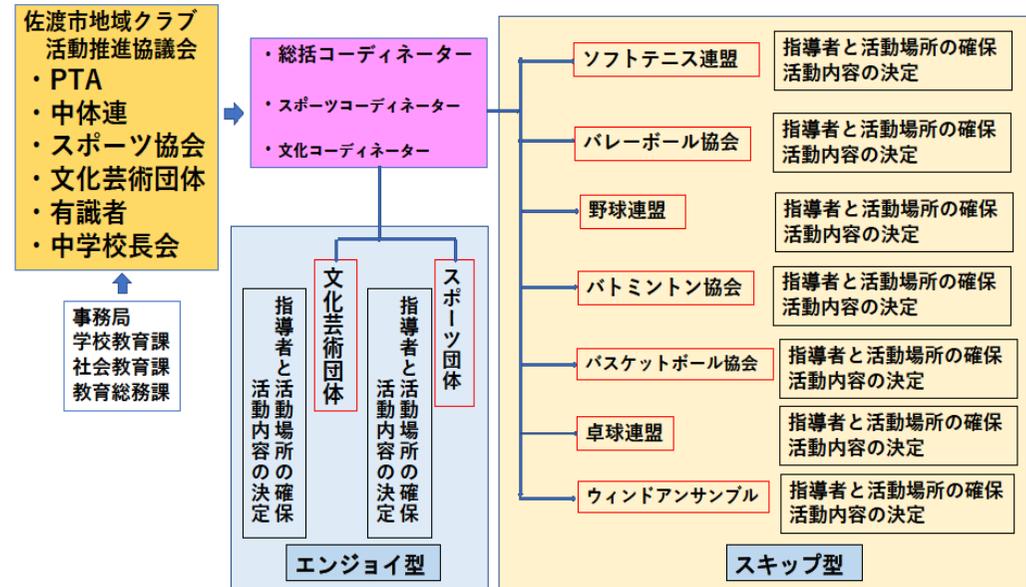
2.実証内容と成果

主な取組例

●バスケットボールクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バスケットボール
運営団体名	バスケットボールクラブ
期間と日数	佐和田会場：5月26日～3月16日 月2回程度（日曜日開催） 畑野会場：5月25日～3月15日 月2回程度（土曜日開催）
指導者の主な属性	市バスケット協会、中学校教員
活動場所	佐和田中学校体育館、畑野中学校体育館
主な移動手段	徒歩、保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	年間2,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者（社会体育係 係長）
役割：活動における管理者として全体の総括を行う
- スポーツコーディネーター 1名
役割：会場予約、指導者との連携、各種調整を行う
- 主任指導者 1名
役割：活動における主任者として生徒への指導を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

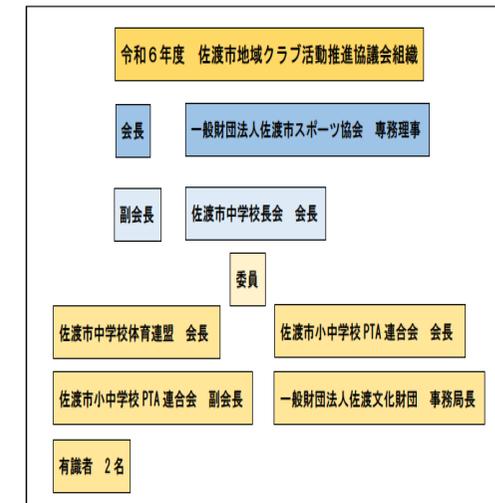
○地域クラブ活動に参加可能な競技団体を選定する際には、佐渡市スポーツ協会と協議して決定した。また、エンジョイ種目については、佐渡市スポーツ協会に運営を依頼することにした。そのため、新たな地域クラブ活動の種目の発掘が可能となった。

○スポーツコーディネーターが、学校や各スポーツ団体、及び参加生徒との連絡調整を行ったり、種目ごとの会場予約をしたりし、地域クラブ活動がスムーズに実施できるように取り組んだ。

取組の成果

○佐渡市スポーツ協会の専務理事を佐渡市地域クラブ活動推進協議会の協議会長に据えることにより、この活動にイニシアチブをもつとともに地域移行の取組とスポーツ協会との結びつきを強固にできるように図っている。佐渡市スポーツ協会にエンジョイ種目を委託することによって加盟する多くのスポーツ団体を活かし、部活動の種目に無い活動が可能となった。具体的には、今年度新たにボルダリング、ゴルフ、体操、硬式テニス、柔道、剣道の6種目を加えることができた。この結果、生徒は、15種目の多様な活動から自分の好みに応じた種目を選択することができるようになり参加者増につながることができた。

○スポーツコーディネーターが参加生徒や指導者との丁寧な連絡調整を行うことにより徐々に参加者数が増えている。令和5年度の実績としてスキップ型191名、エンジョイ型99名だったが、令和6年度は6月現在、スキップ型267名、エンジョイ型が213名にまで増加している。



コーディネーターの具体的な動きの実績

【スポーツコーディネーター】

- ・新種目が実施されるときには必ず参観し、参加者の感想を記録したり課題のヒアリングをしたりしている。
- ・学校、参加者、指導者への連絡調整を実施している、特に雨天時の外での種目に対して会場の変更に努めている。

今後の課題と対応方針

- 来年度の週休日月3回の実施に向けて多くの課題が想定されている。
 - ・スポーツ協会と連携しながら一層指導者の確保に努めていく。
 - ・アンケート調査を実施して新たな種目の開発に努める。
 - ・コーディネーターを中心に会場の確保に努める。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

部活動と同じ種目のスキップ型については、スポーツ協会の加盟団体に依頼し、会場数に見合った指導者の確保を依頼した。中心地から遠方の学校については学校の教員に兼職兼業を依頼したり地域の人材に依頼したりして指導者を確保した。

部活動には無い種目のエンジョイ型については、スポーツ協会に種目の選定とともに指導者の確保を依頼した。

SEAの採用

今年度SEA（スポーツ国際交流員）を3名採用した。アメリカ合衆国2名、インドネシア1名で、それぞれ野球、バスケットボール、バドミントンの指導にあっている。この3名は、生徒の指導もさることながら、指導者にとって新たな技術やトレーニング方法を学ぶことができる期待となっている。

スキップ型指導者数

○ソフトテニス 14人
○卓球 15人
○バスケットボール 11人
○バドミントン 19人
○野球 25人
○バレーボール 3人
合計 87人

エンジョイ型指導者数

○サッカー 6人 ○スキー 6人
○トレッキング6人 ○陸上 5人
○空手 5人 ○自転車 3人
○ゴルフ 2人 ○ダンス 2人
○ボルダリング 2人○柔道 2人
○硬式テニス 2人○剣道 2人
○体操 1人 ○水泳 1人
○マリンスポーツ17人合計62人

取組の成果

佐渡市スポーツ協会と連携して取り組んできた結果、地域クラブ活動に関わる指導者が149人となり昨年度に比べて61人増加した。種目数も16から21に増やすことができた。その結果、参加する生徒数もかなり多くなり、スキップ型が76人増、エンジョイ型が114人増（延べ人数）となっている。課題となっているのは、参加者数の問題である。サッカーやゴルフ、水泳などアンケート調査では10人以上の参加希望があったが実際の参加者は1人という結果となっている。他のエンジョイ種目も参加人数が少ない種目が見られる。何とか指導者を確保しているので参加者をいかにして増やしていくかが課題となっている。

佐渡市スポーツ協会 加盟競技団体

佐渡市ゲートボール協会	佐渡山岳会
佐渡水泳連盟	佐渡バドミントン協会
佐渡スキー協会	佐渡バスケットボール協会
佐渡バレーボール協会	佐渡市テニス協会
佐渡サッカー協会	佐渡野球連盟
佐渡市剣道連盟	佐渡柔道連盟
佐渡卓球連盟	佐渡ソフトテニス連盟
佐渡空手道連盟	佐渡市陸上競技協会
佐渡ゴルフ連盟	

【出典：一般財団法人 佐渡市スポーツ協会】

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

指導者全体に対しては、中学生に対する対応の仕方の研修を実施した。地域の指導者にとっては自分の種目の技術指導よりも中学生の特性を知り、技術指導については、バドミントンと野球について島外から指導者を招聘して実施した。また、一人一人の指導者には「安全管理マニュアル」と「指導の手引き」を渡し、危機管理意識と指導に対する責任をもたせることにした。

指導者研修の参加実績

○指導者研修会

- ・演題 「子どもを育てる地域クラブ活動の指導」
- ・講師 新潟医療福祉大学 教授 山崎 史恵 様
- ・開催日： 5月11日・12日 ・開催回数： 2回
- ・参加人数： 33人

○指導者技術研修会（バドミントン）

- ・講師 NTT東日本バドミントン部 ・開催日： 9月14日
- ・参加人数： 10人

○指導者技術研修会（野球）

- ・講師 NTT東日本野球部 ・開催日： 11月16日
- ・参加人数： 17人

受講者の声

- ・NTTの講師の方に時間をかけてノック指導してもらえたことがとても参考になったし勉強になった。
- ・日本の一流選手のプレーや言葉に直に接することができて、考えを新たにすることができた。
- ・様々な指導法を教えていただいて今後の指導の参考になった。
- ・実際に中学生を指導し、実績を上げている指導者による研修もよいのではないかと思いった。優秀選手ではない生徒の指導についても知りたい。
- ・NTT東日本が実際にやっているメニューを知れたのが良かった。中学生を指導するうえで、自分の経験に基づく指導ではなく、結果を出している人や実績のあるチームが取り入れてる練習法ならば自信をもって子ども達に伝えられると感じた。

今後の課題と対応方針

令和7年度には、地域クラブ活動の回数を月3回に増やしていくことが決まっている。今後指導者の確保が重要な課題となってくるが、スポーツの経験者であれば良いというのではなく、指導者としての適格性を担保した人材が必要である。離島であるため、広域的な協力も得られない状況下なので各スポーツ団体と協力しながら新たな指導者の育成に努めていきたい。また、指導者のモチベーションを高めるため「指導者マスター制度」を採り入れ何らかの特典を与えられるよう検討していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

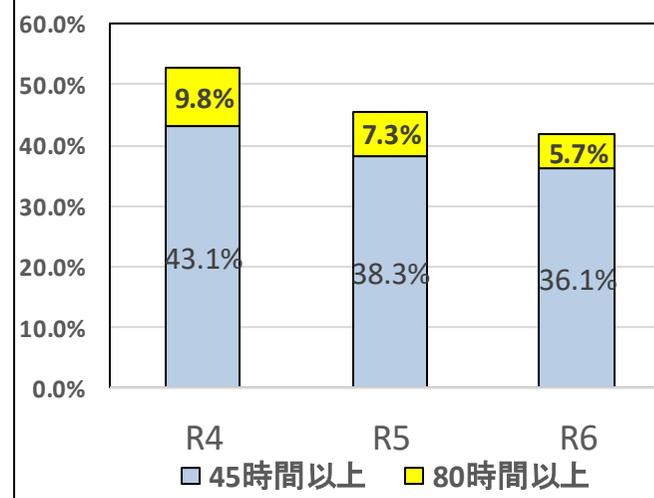
○学校と連携して進めていくため、中学校校長会長や中体連会長PTA連合会の役員を佐渡市地域クラブ活動推進協議会の委員に委嘱し、本市の取組及び今後の見通し等について意見を聞きながら進めている。

○指導者の派遣、施設の利用、学校行事の確認等、スポーツコーディネーターが学校と連携しながら実施している。

取組の成果

課題となっていた教員の働き方改革について、地域クラブ活動を開始した令和5年から教員の時間外勤務者は年々減少傾向にある。令和5年度には月1回の週休日を部活をしない日に設定し、令和6年度には月2回の週休日を部活動をしない人設定している。その結果、45時間以上の勤務者は令和4年度には全体の43%となっていたが令和6年度には36%まで減少している。さらに、80時間以上の勤務者は令和4年度には全体の9.8%となっていたが令和6年度には3.6%まで減少している。地域クラブ活動の実施も教員の時間外勤務者を減らす要因の一つになっているのではないかと考えられる。

中学校教員時間外勤務者の割合



出典：佐渡市教育委員会 学校教育課

中体連との意見交換会

- ・日時 11月15日
- ・参加者 各中学校体育主任、社会教育課
- ・内容 ○今年度の取組について質疑応答
○来年度の取組について意見交換
○来年度の中体連の大会日程

中学校との連携・依頼事項

- ・令和6年度月2回の地域クラブ活動日は部活動休止日とする。
- ・「地域クラブ活動募集要項」「地域クラブ活動たより」「地域クラブ活動アンケート調査」等の配布、及びポスターの掲示をする。

今後の課題と対応方針

令和7年度、月3回の地域クラブ活動実施に伴い、部活動は週休日に月1回の実施となる。今まで週休日に部活動の練習試合を実施していた中学校にとって練習試合の継続が難しい状況となる。地域クラブ活動同士で練習試合を経験するなど対策が必要となる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

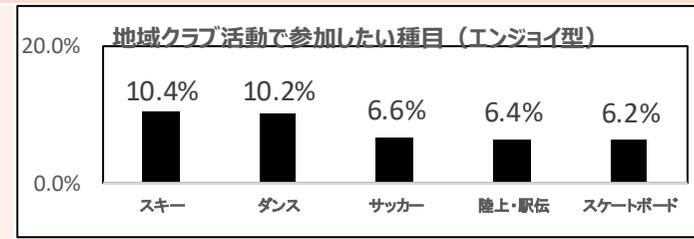
●取組項目名 オ：内容の充実

取組事項

昨年度に引き続き部活動と同じ種目を通年で実施するスキップ型と、部活動に無い種目を毎回選択して楽しめるエンジョイ型を用意した。

エンジョイ型の種目は、昨年度雪不足のため実施できなかったスキー以外にもトレッキング、ボルダリング、ゴルフ、硬式テニス、柔道、剣道の6種目を加え、生徒の幅広い要望に応えることができるようにした。特に、季節性の高いスキーについては他の種目と異なり、支援内容を重質してる。積雪状況や天候状況に左右されやすく、中止を余儀なくされる場合が多いため、代替種目を可能にしている。また、会場までのシャトルバスやリフト代は無料にしている、

活動の詳細			
参加人数	36人	指導者数	6人
属性	スキークラブ活動		
具体的な内容	8:30 シャトルバスにてスキー場に出発 9:00~12:00 2班に分かれてスキーの練習 経験者の班はリフトに乗って練習。初心者の班は緩斜面でボーゲンから練習し最終的に3~4回リフトに乗っての練習。 13:30 シャトルバスにてスキー場を出発		
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本的なことから難しいことまで教えてもらって良かった。 ● 前やった時は少し苦手だったけど、今回上手に滑れるようになって楽しかった。 ● 1日の体験で自分でも技術が上手になったなあと思えるようになりました。 ● どんどん滑れるようになってきたのがうれしかった。今度はカーブをがんばりたい。 		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> ● 初めてスキーを取り入れたので生徒のレベルに合わせて班を構成し練習を行った。 ● 最初は板になれてなかったので戸惑っていたが、次第に慣れてきたようだった。 ● 今年は雪が豊富にあるので生徒の目標が達成できるようにお手伝いしたい。 ● 生徒一人一人の笑顔を見ることができて指導して良かったと思った。 		
運営経費	<ul style="list-style-type: none"> ● 指導者謝金 1,600円×3時間 ● シャトルバス 無料 ● リフト 無料 ● レンタル料 (ウェア、スキー板 等) 自費 		



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 **カ：参加費用負担の支援等** **キ：学校施設の活用等**

取組事項（カ）

地域クラブ活動の参加費は年会費2,000円に設定しており、すべての生徒が参加しやすい金額とすることで経済的負担の軽減を図っている。

また、初年度より就学援助受給世帯については参加費を全額免除しており、経済的理由により参加をあきらめることのないよう配慮している。

活動運営には国や県の補助金を活用しているほか、道具のリユース提供も随時募集・活用しており、費用負担の軽減と環境面への配慮を両立している。

取組の成果（カ）

低額な会費設定と免除制度、リユースの取組により、令和6年度は前年度より参加者が増加。市内中学生のうち33.1%が地域クラブ活動に参加しており、受益者負担を抑えつつ、活動への理解や関心が広がってきている。

今後の課題と対応方針（カ）

令和7年度以降、補助金の縮小が見込まれる中で、会費の段階的な見直しや自己負担と公費負担のバランスの検討が必要となる。引き続き、就学援助世帯への支援は継続するとともに、申請のしやすさや対象範囲の見直しも含めた対応策を検討していく。

取組事項（キ）

地域クラブ活動では、市内中学校の体育館やグラウンド、および社会教育施設等を活用しており、施設使用料は発生していない。また、必要な道具や備品については、新品購入だけでなく、地域から提供されたリユース品を一部活用することで、初期負担の軽減を図っている。鍵の開閉や施設利用に関する運用は、指導者が対応している。

取組の成果（キ）

学校施設および社会教育施設等の活用により、施設使用料の負担がなく、運営コストを抑えた活動が可能となっている。また、一部備品の再利用により、道具購入の負担を減らすことができた種目もある。

今後の課題と対応方針（キ）

休日の活動では鍵の貸出・管理に関する指導者の負担が課題となっている。今後は、施設利用のルール整備や開閉支援体制の検討に加え、備品の管理や使い方についても整理していく必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組（安心・安全の確保）

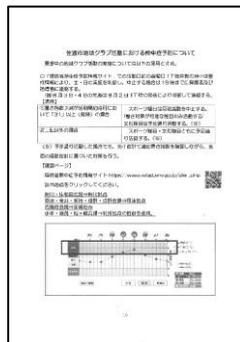
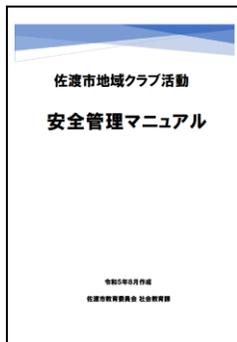
取組事項

今年度も中学生への適切な対応と指導の仕方を学ぶ研修会を実施するとともに「安全管理マニュアル」と「指導の手引き」の冊子を一人一人の指導者に配布した。近年、猛暑日が多くなっていることから、「安全管理マニ

アル」には「佐渡市地域クラブ活動における熱中症予防について」を加え、注意喚起を行った。また、毎回「佐渡市地域クラブ活動 活動日誌」をつけたり、生徒、保護者、指導者に感想を記載してもらったりしている。

取組の成果

「安全管理マニュアル」と「指導の手引き」には、事故や災害等があった際の対応を示したり、中学生に対する指導の注意事項を示したりしている。今年度は、バスケットボールでスポーツ安全保険の適用となった事案が1件あったがそれ以外は事故もなく安全な活動が実施できている。また、不適切な指導や対応によるトラブルも起きていない。



活動実施後のコメント表の事例

「佐渡市地域クラブ活動」生徒、指導者、保護者の皆様 コメントをお願いします	
参加したクラブ 参加した期日 氏名(フリガナ) 氏名(ローマ字) 参加(指導)しての感想	1 陸上 2 クラブ 6月 7月 O様(指導者)・指導者(保護者)・生徒(1年、2年、3年) 高で体育館での練習になってしまい残念でしたが、他の学校の先生方に指導して頂けて良い経験になったと思います。
その他 ご感想・ご質問・ご要望 ※ 来年度もこのクラブに参加を希望しますか。(はい) いいえ 考慮中	来年度は高校生になるので高校でも陸上を続けてもらいたいです。 はい
※ 質問も活用ください。 ご協力ありがとうございました。 【コメントは可能な限り掲載することがありますが、ご了承ください】	

「佐渡市地域クラブ活動」生徒、指導者、保護者の皆様 コメントをお願いします	
参加したクラブ 参加した期日 氏名(フリガナ) 氏名(ローマ字) 参加(指導)しての感想	[] クラブ 5月 6月 O様(指導者)・指導者(保護者)・生徒(1年、2年、3年) 指導者としての経験がたまりません。(指導者) 色々な経験を活動できて良かったです。(指導者) 色々な経験を活動できて良かったです。(指導者)
その他 ご感想・ご質問・ご要望 ※ 来年度もこのクラブに参加を希望しますか。(はい) いいえ 考慮中	はい
※ 質問も活用ください。 ご協力ありがとうございました。 【コメントは可能な限り掲載することがありますが、ご了承ください】	

毎回活動内容を評価する工夫

活動終了後に毎回コメント表を渡し、生徒、保護者、指導者に感想を書いてもらっている。指導者にとっては、このコメントが技術指導の評価となるとともに中学生への適切な対応ができているかどうかの評価にもなっている。また、指導者は毎回活動日誌を記載することになっている。生徒が活動中に異状があった場合に記載する欄を設けている。活動後に具合が悪くなくても活動中の様子が把握できる。このように安全・安心な活動を目指している。

今後の課題と対応方針

事故や災害はいつ起きるか分からないし起きてもおかしくない。いざという時のためにあらかじめの対策が重要である。年々環境や参加者の状況も変化するのでその時々合った安全管理マニュアル等の更新が必要である。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和6年度は、5月から月2回の休日を部活動休止日とし、地域クラブ活動を実施している。現在まで大きなトラブルや事故もなく予定通り実施することができている。

指導者に対する研修も島外から指導者を招いて質の高い研修会を実施することができた。大学の教授を講師として中学生への対応の仕方を学んだり、企業で活躍しているトップレベルの選手から技術指導を受けたりと充実した内容の研修にすることができた。

評価活動としては、活動終了後に生徒や指導者、保護者に毎回感想を書いてもらっている。記載内容を見ると、活動に満足している様子や指導者に感謝するコメントがほとんどであり、充実した活動が進められてきている様子が分かる。

会場の確保については、コーディネーターが担当し、事前に調整を済ませることで確実に実施できている。

周知活動については、ポスターの作成やホームページの更新、年10回のたよりの発行も予定通り進んでいる。さらに、地域クラブ活動紹介動画も作成するなど新たな取組も始まり充実してきている。

●成果の評価

中学生の参加者については、令和5年度スキップ型が191人、エンジョイ型が99人（延べ人数）となっていたが、令和6年度には、スキップ型が213人、エンジョイ型が267人（延べ人数）とかなり増えている。また、指導者数においても、令和5年度116人だったのが令和6年度160人と伸ばすことができた。地域クラブ活動の周知がだいたい進んできたことや、ポスターとたよりに添付している二次元コードから随時参加申し込み可能としていることがこの成果の要因の1つになっていると考えられる。

また、昨年度、地域クラブ活動として活動していたバスケットボールの1チームが単独で運営するクラブチームに移行した。地域クラブ活動から自立活動へと派生したことは、1つの成果ではないかと考えられる。

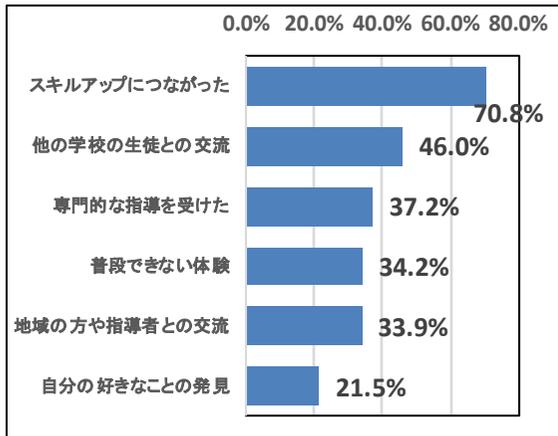
●今後に向けて

令和7年度は月3回の地域クラブ活動の実施を予定している。活動日が増えることで指導者や会場の確保が大きな課題となっている。また、中体連からは、部活動の練習試合の日程が組めなくなるとの意見が出されている。学校との連携を進め、学校行事に不都合が無いような日程調整が必要となる。参加費の改定も大きな課題である。補助金を受けて2,000円という安価な設定にしているが令和7年度は値上げが必要である。あまり高く設定すると参加したくても敬遠する家庭も想定される。持続可能な活動にするにはいくらくらい設定するか検討が必要である。

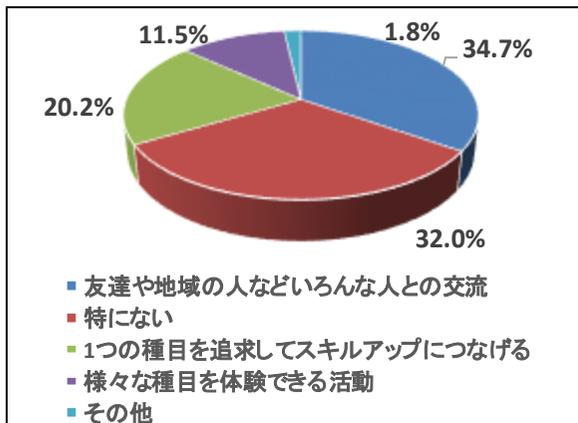
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

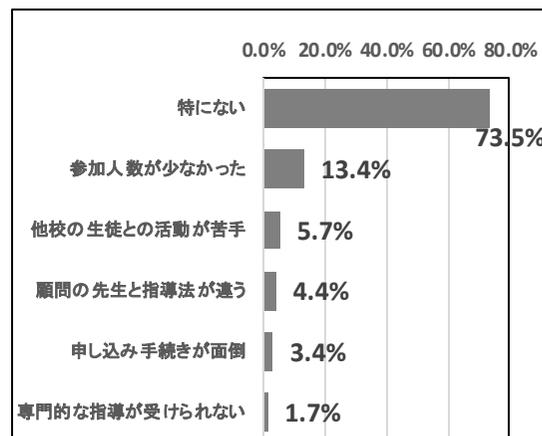
Q.佐渡市地域クラブ活動に参加して良かったことは何ですか？（複数回答）



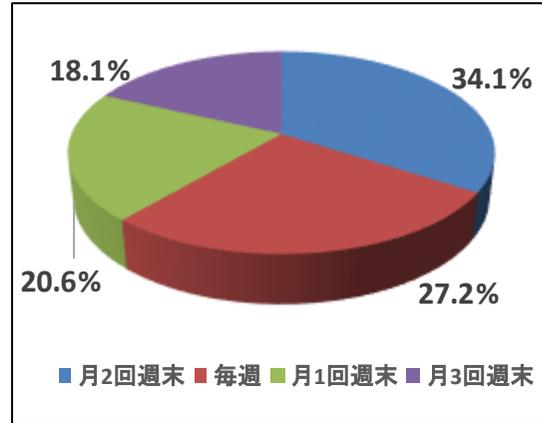
Q.佐渡市地域クラブ活動がどのような活動になったら良いと思いますか？



Q.佐渡市地域クラブ活動に参加して良かったことは何ですか？（複数回答）



Q.佐渡市地域クラブ活動の実施回数についてどう思いますか？



●参加者の声

中学3年生（卓球）

部活動では自分たちで練習しているので指導者から教えてもらうことの大切さを知った。技術的なことをいろいろ指導してもらい勉強になった。他校の生徒とも交流できて楽しかった。

中学2年生（マリンスポーツ）

あまり体験する機会が無いヨットやダブルスカルなどができて貴重な経験になりました。乗る種目が自由に選ぶことができ楽しかったです。中でもサップが一番楽しかったのでまた乗りたいと思いました。

保護者（ソフトテニス）

子どもは初心者なので個別指導をしてくれてありがたかったです。親も勉強になっています。回を重ねるごとに上達していることを実感しています。指導者の方々に感謝しています。参加者が増えるといいと思います。

指導者（ゴルフ）

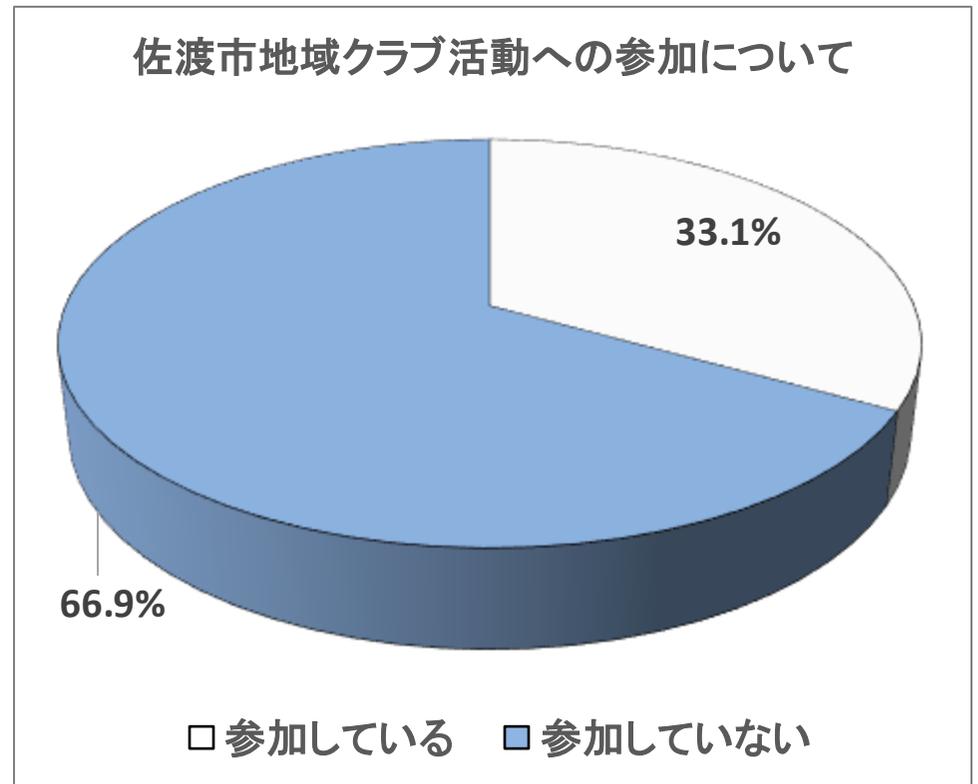
全く初めての体験という事だったので技術的な面よりゴルフは楽しいものだと思ってもらえるような指導をしました。終わった後、本人が「ああ、楽しかった。」という声を聞いて指導して良かったという想いです。

2.実証内容と成果③

アンケート結果・広報資料

広報としては「地域クラブ活動たより」と「地域クラブ活動ポスター」、ホームページ等により地域クラブ活動の周知に努めるとともにたよりやポスターに二次元コードを載せて随時参加を募ることとした。

令和6年度に佐渡市地域区合部活動に参加した生徒は、市内の中学生の33.1%となっている。昨年度は26%だったので参加率は伸びてきている。



【生徒への参加啓発ポスター】

【アンケート結果】

出典:佐渡市教育委員会 社会教育課

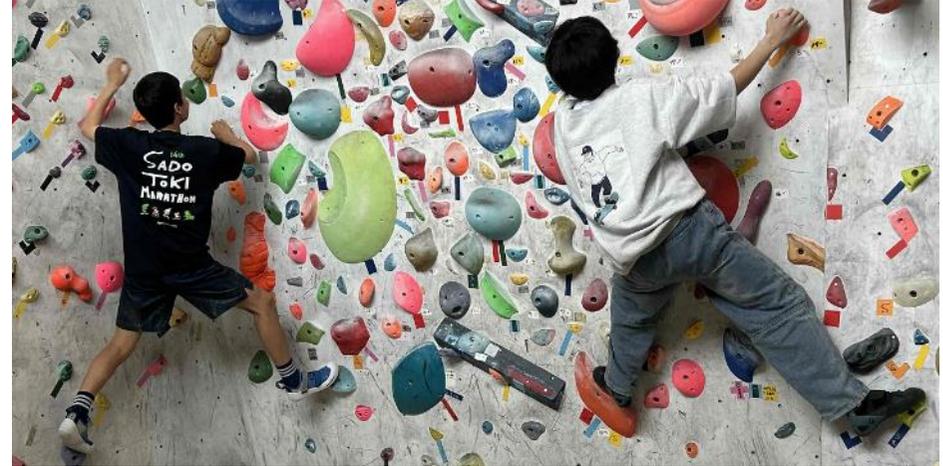
出典:佐渡市教育委員会 学校教育課

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【トレッキングで頂上】



【ボルダリングの活動】



【硬式テニスの指導】



【ゴルフでパッティング練習】

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



ステークホルダー

学校、中体連、スポーツ協会、競技団体
市長部局、市教委、コーディネーター

経過

令和4年度より改革検討懇談会を設置し、部活動の地域移行についての検討を開始した。次いで、令和5年度には地域クラブ活動推進協議会を設置し、新たな地域クラブ体制を令和8年までに構築する推進計画及び地域クラブの活動指針を策定した。令和5年9月には月1回の地域クラブ活動を開始した。指導者には、危機管理マニュアルと指導の手引きを配布し、安心安全な活動についての意識付けを行った。令和6年度は、月2回の地域クラブ活動を開始し現在まで計画通りに実施している。

実施内容

令和5年9月からは市内全13中学校と1中等教育学校において月1回の休日の部活動を取りやめ、地域クラブ活動へ参加する取組を開始した。地域クラブ活動はスキップ型全5クラブ、エンジョイ型全8クラブ

が実施された。予定した種目のうち、参加者が無かったり気象状況によって開催できなかつたりしたクラブもあった。令和6年度は月2回の休日の部活動を取りやめ、地域クラブ活動へ参加する取組を進めている。活動場所の予約や会場の変更等の調整についてはコーディネーターが担当し予定通り地域クラブ活動が実施できるように努めている。

実施にあたって生じた課題

休日のクラブ活動において、や鍵の貸出に対する指導者の負担が大きいたことが指摘された。市役所庁内の検討会議で令和また、種目によっては指導者の不足が大きな課題として指摘されている。スポーツ少年団や地域の企業等へ指導者募集の案内を出すなど、総括コーディネーターによる関係者への働きかけを検討している。

今後の展開

令和7年からは、市内すべての中学校において、休日の地域クラブ活動を毎週実施する。また、持続可能な地域クラブ運営とするために、会費負担を開始する。保護者の理解を得るために、地域クラブの紹介動画やパンフレットを作成し、会費負担の必要性について説明する。

3. 今後の方向性

佐渡市地域クラブ活動 年次計画

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1 運営団体	教育委員会	地域団体（教委関与）		
	達成目標	地域団体への移行		
2 実施主体	佐渡市地域クラブ （スポーツ団体・文化団体）	佐渡市地域クラブ 既存の地域クラブ	→	→ 地域クラブ（市教委関与）
	達成目標	既存の地域クラブとの連携		
3 指導者確保	7月 教職員の兼職兼業意向調査 受け入れ団体の指導者を依頼	4月 教職員兼職兼業意向調査	→	→
	達成目標	既存の地域クラブや団体の指導者を依頼		
4 指導者育成	指導技術講習会		→	→
	達成目標	指導技術向上のための講習会を実施し、指導者を育成		
5 指導者資格	年1回研修会実施			→ 指導者マスター制度
	達成目標	現在の指導者の8割程度が「指導者マスター」の認定		
6 会場	受け入れ団体と使用会場を協議		→	→
	達成目標	学校体育館と社会教育施設を活用		
7 会費	廉価な年会費の設定		→	→
	達成目標	廉価な年会費と要保護・準要保護家庭への負担補助（継続）		
8 アンケート調査	12月 現状と課題を把握し、改善のためのアンケート調査	9月 現状と課題を把握し、改善のためのアンケート調査	→	→
	達成目標	令和8年度 休日完全以降に向けて課題把握と改善		
9 検討会	課題と成果の検討		→	→
	達成目標	佐渡市地域クラブ活動推進協議会の開催（継続）		
10 予算		10月 新年度予算要求 国・県補助金等の申請	→	→
	達成目標	必要予算の整備（継続）		